

ANNUAL REPORT 2022

CONTENTS

■ トピックス

- ・脱炭素化実装 - 中小企業支援・スマート・再エネ戦略- ... 01
- ・地域でのMa a Sの導入・推進 02
- ・まちのコモンスの創出 03

■ エキスパートグループ

- ・ソーシャル・イノベティブデザイングループ ... 04
- ・都市再生・マネジメントグループ 05
- ・都市・地域プランニンググループ 07
- ・公共マネジメントグループ 09
- ・生活デザイングループ 11
- ・地域再生デザイングループ 12
- ・地域産業イノベーショングループ 13
- ・サステナビリティマネジメントグループ 15
- ・建築プランニング・デザイングループ 17

■ バックオフィス

- ・中期ビジョンの策定と推進 19
- ・アルパック版DXの推進 21
- ・企画政策推進室・メディア委員会 22



襷(たすき)を繋ぐ

■ 駅伝から考える「自律型経営組織」の未来

故森脇さんからアルパック代表の襷を渡され2年間。既に私で5区の襷となります。
区間新記録は困難でも、この襷を及第点でも良いので、次の世代に必死になって繋いでいくことが襷を渡された者の使命だと考えています。

アルパックでは、設立当初より「**全員経営**」をめざし、全員が個々の役割に応じて自分の襷の重さを認識し、チームワークで仕事を進めていくことを信条としています。

襷を繋いでいくためには、個々が自律している必要があります。

自律と自立とは違います。

自立は、他者に頼ることなく物事を行えること。

アルパックでは、技術的、経済的、身体的な自立をめざしながらも、人間社会では一人で生きていないので、私達は相互に支え、助け合う必要があると考えました。

「**自律**」は、自らの価値観や信念に基づき、ブレないで判断・行動すること。

自分の頭で考え、判断し、行動することで、結果についても自分で責任を持つ。

仕事や経営において、指示されたことだけをするのではなく、全員がそれぞれの役割に応じて自律していくことが大切であると考えます。

また自律した個人が、腹を割って話をする際には、価値観や信念の違いから意見の衝突も避けられません。その際に、重要なキーワードが「**信頼**」であると考えます。

価値観や生き方は違えど、相手を尊敬し、信頼関係が成立していると、意見の衝突が新しいアイデアや価値観を創り出すことができます。

2022年度も、「**意見の衝突による新しい価値観の創造**」をめざします。

引き続きご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役 中塚 一



全社研修会（2021. 10. 22オンラインにて）

脱炭素化実装 - 中小企業支援・スマート・再エネ戦略 -

植松陽子、駒和磨、絹原一寛、櫻井恵介、中川貴美子

- RE100を表明する日本企業は72社*1、再エネ100宣言 RE Actionに参加する団体は273団体*1、カーボンニュートラル宣言をする自治体は749自治体*2と、脱炭素化が全世界、あらゆる主体の目標となった今、2030年までに約半減に向けた、具体化支援に取り組んでいます。
*1:2022.7現在 *2:2022.6末現在

●中小企業脱炭素化・地域人材育成支援

- 産業界では**サプライチェーン全体での排出削減**が急務となり、中小企業にまで脱炭素化への働きかけが拡大しています。この流れに取り残されがちな中小企業における脱炭素化支援として、**スクール形式で脱炭素経営や具体取組について自ら考え学びあい、事業計画として具現化する支援**をしています。
- その他、兵庫県下では、**脱炭素・SDGsに取り組む地域の担い手育成**が第7期を迎え、中学生～中小事業者が学びあう場をデザインしています。
(<https://hso-t.com/>)

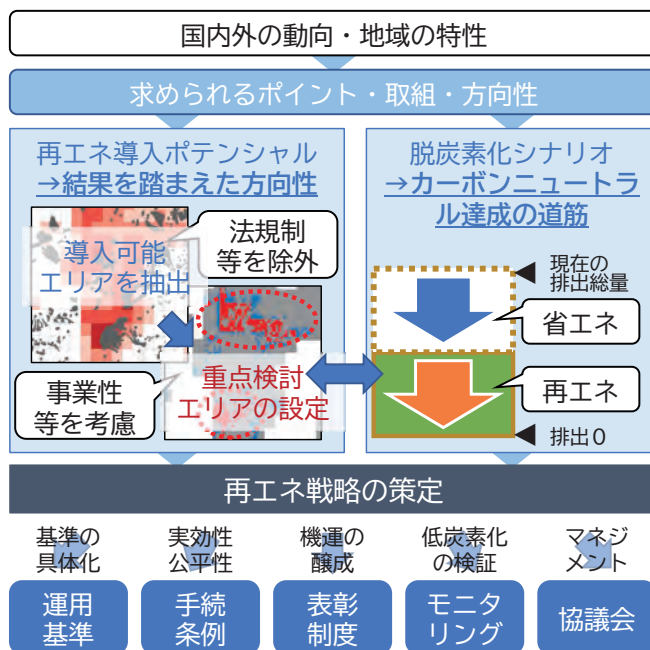


●スマートエリア形成に向けた組織形成支援

- スマートエリア形成に向けては、エネルギーだけでなく、ICT技術、産業、観光等、様々な分野に関わります。
- スマートエリア形成に向けては、自治体だけでなく、企業、次世代など、**地域内外のステークホルダーの機運を醸成**しながら取り組みを進める必要があります。
- FS調査や計画づくりだけでなく、**庁内の合意形成や官民勉強会、未来の担い手ワークショップ**などに取り組んでいます。

●空間分析・土地利用誘導と連動した再エネ戦略

- 実効性ある脱炭素化施策には、エネルギーの最適化等とともに、**建築物や太陽光発電施設など空間・土地利用の調整・誘導施策**が求められます。
- 当社では自治体の低炭素都市づくり戦略策定、街区のスマートコミュニティ誘導、エコまち法に基づく低炭素まちづくり計画策定を通じて、脱炭素化の誘導施策を支援してきました。
- とりわけ川西市・キセラ川西地区においては、低炭素まちづくり計画による脱炭素化の取り組みを促す**運用基準（ガイドライン）を設定、手続条例**で誘導し、**エネルギーモニタリング**や取組の可視化（**ラベリング**）を先駆的に実践してきました。
- 脱炭素先行地域を見据えた脱炭素化ロードマップ策定も手掛け、**GISによるポテンシャルの可視化と重点検討エリアの設定**等、都市計画要素技術を組み合わせ、再エネ戦略策定を支援しています。



関連業務実績

スマートエリア形成・推進組織立ち上げ等調査業務（福井県・高浜町／2020年～）／豊田市脱炭素経営スクール企画運営（豊田市／2021年～）／ひょうご持続可能地域づくり機構・人材育成（環境省・兵庫県／2015～）／愛知県地球温暖化対策計画策定塾（市町村職員向け）（愛知県／2020年～）関西エネルギーシステム研究会（近畿経済産業局／2010年）／スマートコミュニティ構想（構想普及支援事業）（川西、大阪平林地区、箕面船場東地区）（経済産業省・一社新エネルギー導入促進協議会／2016年）／低炭素地域づくり面的対策推進事業業務（環境省／2008年～）／低炭素都市づくり戦略・低炭素まちづくり計画策定業務（堺市・川西市・吹田市／2012年～）

関連グループ等

サステナビリティマネジメントグループ、建築プランニング・デザイングループ、都市再生・マネジメントグループ、地域再生デザイングループ、(株)よかネット

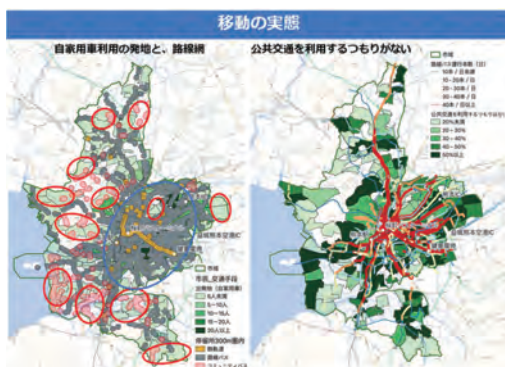
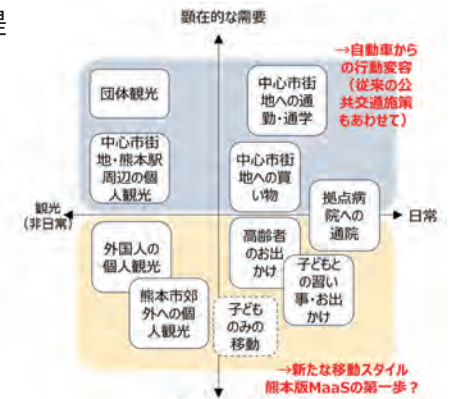
地域でのMaaSの導入・推進

櫻井恵介、原啓介、山崎裕行、益戸亮平、中川貴美子、橋本晋輔、佐藤拓也、駒和磨

- MaaS (Mobility as a Service) は、「サービスとしての移動」として、画一的なアプリの導入にとどまらず、地域の課題やニーズに合わせた、サービスを選択し、導入していくことが重要となります。
- 特にMaaSの社会実装に向けては、各ステークホルダーが、目指す将来像や方向性といった理念を共有し、競争と協調を図りながらサービスを提供することが重要です。

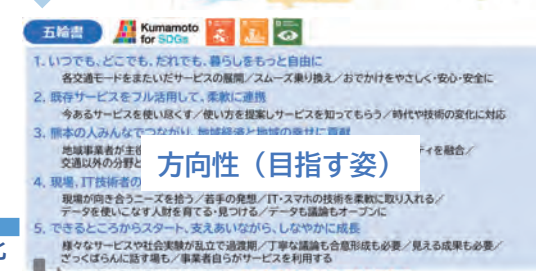
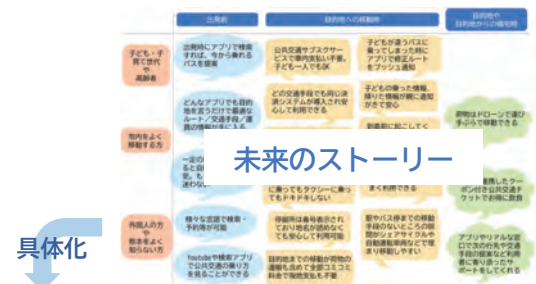
●アンケート調査等から移動の実態と潜在的需要を把握

- MaaSの導入にあたっては、地域内での移動の実態を明らかにするとともに、すでに顕在化しているニーズだけでなく、潜在的なニーズを含めて検討することが重要となります。
- 熊本市では市民アンケート調査とGTFS（標準的なバス情報フォーマット）データを組み合わせ、交通の現状と利用者意識とのギャップを整理しました。また、実際に熊本市を訪れた観光客の情報源や動線をアンケート調査により把握し、熊本市における観光のカスタマージャーニー等を明らかにしました。



●議論と共に理念の共有と機運醸成を図る

- MaaSの導入においては、交通事業者をはじめ、観光、商業、情報系等、様々な主体の参画が必須となります。立場が異なる中で議論を進めていくために、方向性等、理念を共有することが重要となります。
- 昨年度は、全3回の勉強会を通じ、「誰一人取り残さない」ためのMaaSを議論の出発点に、個人の移動に着目し、MaaSが実現した未来のストーリーを描いた上で、方向性（目指す姿）やロードマップの取りまとめを行いました。
- また、MaaSは、ユーザーに利用されて価値を発揮するものとなることから、地域全体での機運醸成も必要です。熊本市でも広く市民等を対象としたセミナーの運営も行っています。



関連業務実績

熊本版MaaS導入にむけた調査検討業務（熊本市／2021年～）／令和3年度（2021年度）熊本型観光MaaS実証実験事業（熊本県観光連盟／2021年～）／「オンデマンドモビリティサービス実証実験検討業務」及び「先導的官民連携支援事業申請業務」（川西市／2019年～）／歴史を生かした里山資本主義による持続可能な未来集落形成事業（真庭市／2019年～）

関連グループ等

サステナビリティマネジメントグループ、都市・地域プランニンググループ、(株)よかネット

まちのコモنزの創出

嶋崎雅嘉、羽田拓也、中井翔太、塗師木伸介、竹内和巳

- ・ 今、公(パブリック)でも私(プライベート)でもない共(コモンズ)の可能性が再び注目されています。
- ・ アルパックにおいても、様々な業務の中でまちの人々自らが管理し、活動・活躍しながら、居場所となる場を創出する試みを各地で取り組んでいます。
- ・ コモンズという場を通じて、利用者同士が関わり、場を育てていくことで、豊かな暮らしに繋がっていくのではないのでしょうか。

●寺田町プレイス1 設計監理業務

- ・ 戦後80年を経て相続の時期を迎え、更新と高層化が進む地域において、個人オーナーによる賃貸集合住宅の設計監理業務に様々な関係者と議論をしながら取り組みました。
- ・ 1階の建物周囲にベンチ等の小さなコモンスペースを配置し、通りすぎる人々へ憩いの場の提供や地域内の新旧住民の交流を促進し、賃貸住宅の1階がまちのコモンズとして機能することを目指しました。
- ・ 建物竣工後から建物前面のウッドデッキでは月1回の頻度でマルシェが開催され、地域内に新たな関係が生まれていっています。
- ・ 現在はオーナーによる地道な取り組みですが、今後、様々な人を巻き込みながらまちのコモンズとして地域のみんなで支える場になってゆけば、と願っています。



●市民会館建替え後の広場のあり方検討

- ・ 茨木市では、市民会館の建替え工事が進んでいますが、施設とともに大きな広場がつけられる予定です。
- ・ キーコンセプトである「育てる広場」を実現するため、複数年に渡って市民参加意識の醸成等に向けたワークショップや芝生を使った社会実験、暫定的な広場の整備と官民連携による運営試行などに取り組んできました。
- ・ 現在では、暫定的な広場「IBALAB@広場」において、市民による多様な活動が展開されるようになっていくとともに、利用ルールや運用も市民との対話をもとにつくられています。
- ・ 新施設の完成後も市民とともに育ち続ける広場となることを願っています。



社会実験での広場の使い方を考えるWS(2018)



市民とともに芝貼りWSから始まった社会実験(2018)



市民とともに企画・運営に取り組んだ社会実験中のイベント例(2018)



暫定広場で自身が主体となった活動を考える会議の場(2020)



暫定的に設置された「IBALAB@広場」



「IBALAB@広場」にて展開される活動の一例

ソーシャル・イノベティブデザイングループ

社会課題の解決策をイノベティブにデザインする

道明寺駅周辺基本構想と駅前の道づくり

道明寺天満宮と駅周辺地区の整備基本構想。地域の歴史的資源や商店街と駅前のにぎわいをつなぐ基本構想



●歴史と和む駅前道路の修景整備の検討

駅や地域の顔となる駅前空間の景観形成と歩行者が快適に歩ける歩行者空間づくり



「持続可能なまちのあり方」を考えるワークショップ

「いこまミライ創発会議」と題し、市政50周年記念事業の一つとして、20代までの若者を対象としたワークショップを支援



●いこまのミライを考えるワークショップ

今後、生駒を去る若者もいる中、自分と関わりの深いまちについて考えるきっかけを作り、興味を深めてもらうよう働きかけ

人口減少下における都市のあり方検討

立地適正化計画や都市計画マスタープランの策定を支援（宝塚市、堺市、大阪狭山市等）

●ライフスタイルの多様化への対応

住中心のまちから、多様なライフスタイルが実現できるまちへの転換に向けて、駅周辺に個性的な都市機能を誘導



漁村集落の移住支援

古くからの風習が残る漁村集落における地域自治活動の継続を目的とした移住支援



●地域の受入体制の設立支援

・地域主体で活動を継続できる体制づくり

●集落の暮らしのルール作成

・地域の風習や活動を維持するためのルールブックの作成

■2021年度のおもな業務

【都市のマスタープラン・土地利用計画】

- 吹田市立地適正化計画評価・見直し検討（吹田市）
- 宝塚市立地適正化計画策定（宝塚市） 等

【景観・ランドスケープ】

- 吹田市景観まちづくり計画改定（吹田市）
- 丸亀市景観計画策定（丸亀市）
- 西宮市景観ガイドライン策定（西宮市） 等

【市街地整備・密集市街地整備】

- 未利用地の活用にかかる都市計画手続等の業務支援及び活用方策等検討（大阪市平野区）
- 北千里小学校跡地等の利活用に伴う市場調査等支援（吹田市）
- 上池袋一丁目地区まちづくり推進検討支援（都市再生機構）
- 密集市街地整備の進捗状況の把握及び今後の密集市街地整備のあり方についての検討（大阪市）
- 密集市街地再生優先地区の課題解消に向けた事業手法検討（神戸市） 等

【持続可能なまちづくり】

- 移住者受入活動支援（和歌山市）
- 猪名川町観光振興基本計画及び観光客誘客アクションプランの評価、第2期計画等策定業（猪名川町） 等

【まちづくり活動支援】

- 誘導型まちづくり支援（烏丸通まちづくり協議会）（京都市）
- 地域景観づくり協定策定支援業務委託（道修町まちづくり協議会）（大阪市） 等

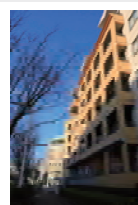
04 エキスパートグループ

■グループメンバー

- 坂井 信行（取締役東京事務所長／グループマネージャー）
- ・技術士（建設部門・都市及び地方計画） ・一級建築士
- ・認定都市プランナー（土地利用計画、景観・都市デザイン）
- 水谷 省三（チーフ）
- ・一級造園施工管理技士 ・登録ランドスケープアーキテクト
- 山崎 将也（チーフ）
- ・技術士（建設部門・都市及び地方計画）
- 橋本 晋輔（チーフ）
- 依藤 光代（チーフ）
- ・技術士（建設部門・都市及び地方計画）、博士
- 小島 みのり
- 筈谷 友紀子
- 藤田 始史
- ・一級建築士

■社会活動等

- 日本建築家協会・都市デザイン研究会代表（坂井）
- ・まちづくりセミナー「建築とまちの価値を高める都市デザインの手法」開催 ・都市デザイン手法を活用したまちのフォーアップ調査（バルコリーヌ南大沢、幕張ベイタウン）
- 都市計画学会・関西支部事務局長（橋本）
- ランドスケープコンサルタンツ協会・関西支部幹事（水谷）



写真：幕張ベイタウン バルコリーヌ南大沢

都市再生・マネジメントグループ

都心や中心市街地・駅前のエリア再生・マネジメント

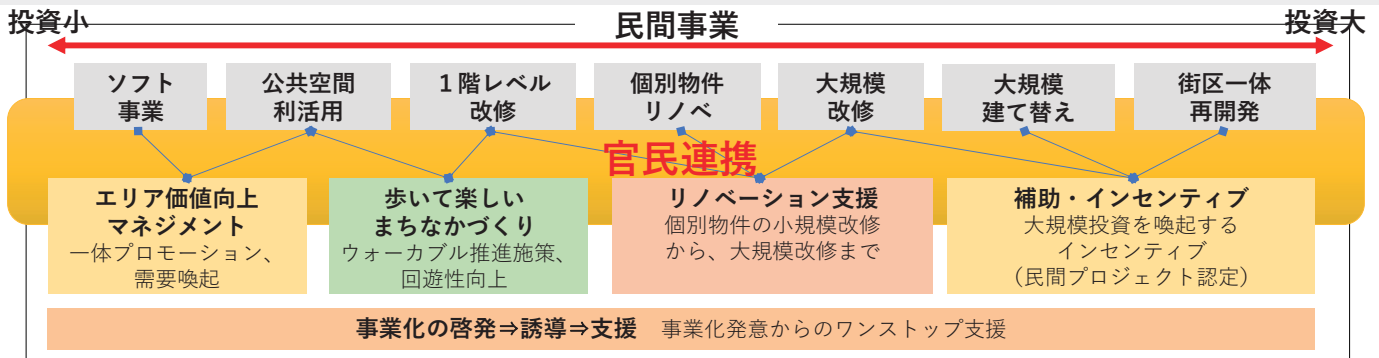
【PICK UP】多様な事業を組み合わせた、官民連携モデル

■新しい市街地整備モデルの必要性

- ・国の「市街地整備2.0」など、従来の単体市街地整備モデルでは限界が露呈、新たな市街地整備モデルの構築が必要
- ・道路・公園など公共空間活用、エリアリノベーションなど民間で小さな投資から始める新たなアプローチが出現、これらと行政投資、再開発事業等とを組み合わせる必要

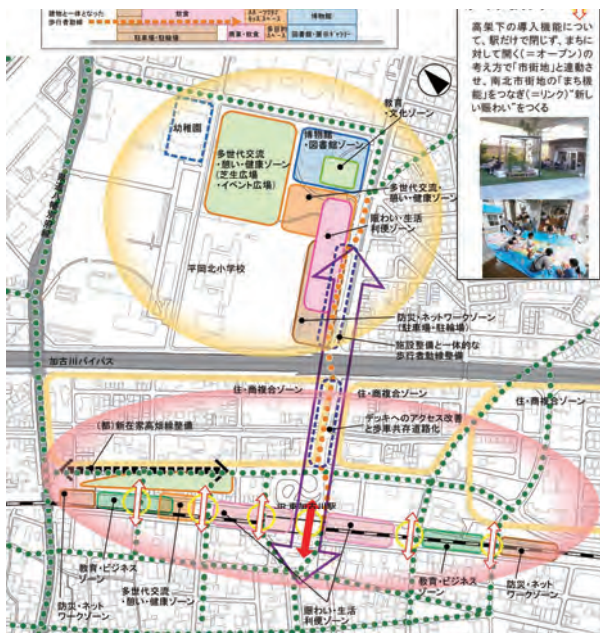
■官民でエリア価値を最大化する事業構築へ

- ・再開発、区画整理、エリアマネ、社会実験など…官民の事業を多様に組み合わせた総合力でエリア再生をプロデュース
- ・既存の計画技術に加え、新たな技術・ノウハウを組み合わせる、多様な「連携」を重視
- ・官と民の間に立つ専門家として事業化をコーディネート



●JR 東加古川駅付近 連続立体交差事業に伴うまちづくり構想策定～官民連携による「新しい高架まちづくり」

連立事業を契機に、市の玄関口にふさわしいまちとして高架下空間と南北市街地を一体的に機能させ、駅からまちに開き、新しい賑わいをつくる構想策定を支援しました。民間事業者や市民団体、教育機関などのヒアリングや市民アンケート調査など、多様な手法を活用し「民」を巻き込んだ空間づくりや管理運営、今後のエリアマネジメントも視野に入れた構想としました。



●岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業～計画づくり・事業協力者募集・合意形成・設計施工までの事業コーディネート～

駅前でありながら低未利用でにぎわい創出・活性化が課題であった地区で、地域の方々が出資・設立したまちづくり会社が施行者となった商業、業務、公共公益機能の複合ビルを優良建築物等整備事業により建設。当社は事業手法の検討段階から事業コーディネートをを行い、設計を実施しました。

◆建物概要

鉄筋コンクリート造・地上12階建(公共施設(岩国市英語交流センター)、学習塾、住宅(41戸))

敷地面積:999.78㎡ 延床面積:3538.98㎡

◆事業経過

平成22年7月8日 (株)いきいき東 設立

平成22年7月～ 調査・計画検討

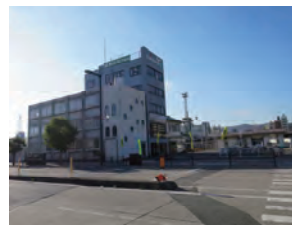
平成29年8月 事業協力者募集(3社応募)

平成29年9月 (株)エストラストを事業協力者に選定

平成30年8月 事業実施同意書・補助事業申請

令和2年1月 土地売買契約・物件補償支払い

令和2年1月～令和4年2月 解体工事・建設工事



事業前



事業後

●都市公園のリノベーション

ー 個別事業のコーディネート

～都市公園全体のマネジメントを横断する

当グループでは、P-PFIをはじめとする個別の都市公園の公民連携事業のコーディネートから、都市内の公園全体のマネジメントに関するプランニングまで横断的に支援します。

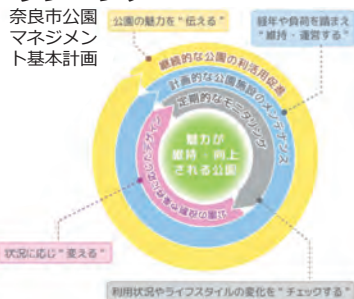
郊外都市の都市公園における公民連携支援

- ・公民連携事業が隆盛し、P-PFIによる都市公園のリニューアルが全国的に、広がりを見せている。
- ・現在、民間事業者優勢の市場に。立地上、不利な郊外都市の公園においては、事業性が乏しく民間の関心が高まらない事例も。
- ・公園内にとどまらない地域の魅力を分析・PRすることで不利地とみられる都市公園等においてもその価値を適切に伝えるエリアプロモーション戦略で事業者へ訴求。
- ・あえてP-PFIを捨て、通常の設置管理許可制度等も柔軟に活用することで、事業者との多様な連携の在り方を提示。



都市における公園経営のプランニング

- ・事業推進支援の経験を活かし、特性に応じた都市公園の利活用・管理運営を想定しつつ、都市公園全体のマネジメント方針を検討。
- ・地域住民だけでなく、事業者やテーマ型の活動団体など多様な主体との連携を想定した管理運営の仕組みづくりなどを検討。



●遊休不動産を活用した空間マネジメント

ー 密集市街地の新たな整備手法を研究

神戸市の密集市街地において、遊休不動産を活用した新たな整備手法に関するモデル・スタディを行いました。

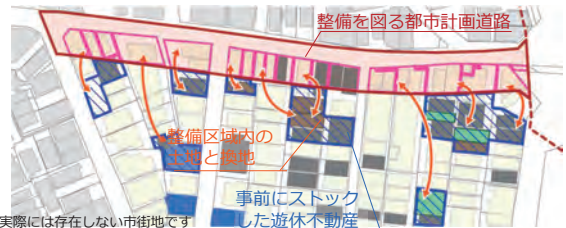
手法1 | 遊休不動産のストック

- ・空き家や空き地が多数分布する密集市街地において、事業の代替地やまちづくりの資源として、遊休不動産をストックしておくための以下の手法を検討。

- ①寄附受け事業を用いた行政による取得
- ②民間事業者等による先行取得

手法2 | 換地による遊休不動産集約・公共施設整備

- ・「沿道整備街路事業」や「土地区画整理事業」等を用いた換地により、希望者の生活再建を図るとともに、遊休不動産を集約し、都市計画道路や区画道路等の公共施設を整備するための手法を検討。



手法3 | 都市再生特別措置法に基づく手法による遊休不動産集約・コモン空間整備

- ・公共施設を整備する場合は、換地手法を採用することは困難であることから、「低未利用土地権利設定等促進計画」制度を活用することで、土地取引に係る負担軽減を図り、円滑な土地集約を行う手法を検討。
- ・集約した遊休不動産を「コモンズ協定」や「まちなか防災空地事業」等により利用権を担保し、まちづくりに寄与するコモン空間として整備するための手法を検討。

■2021年度のおもな業務

【都心や中心市街地・駅前の構想・戦略策定支援】

- 門真庁舎エリア再整備構想検討
- 茨木市・東西軸ストリートデザイン検討
- 大津市・膳所駅前地区
- 堺市・堺東駅周辺
- 京田辺市・新田辺駅周辺
- 京都市・伏見第五地区
- 大阪・鉄道駅周辺ターミナル再整備の検討
- 大阪・グレーターミナミエリア・連携事業戦略構築支援

【市街地再開発事業・団地建替え事業等支援】

- 堺市・下野池第2住宅建替え事業
- 美濃加茂市・美濃太田駅南地区市街地再開発事業
- 名古屋市・柳橋地区

【密集市街地整備事業支援】

- 大阪市／神戸市 整備促進方策検討支援
- 豊島区・上池袋一丁目

【公共空間活用・社会実験支援】

- 「御堂筋チャレンジ2021」(御堂筋道路空間活用)
- 「FACT EAT KADOMA」(京阪門真市駅前広場ほか活用)
- 「イノベる！なかもず」(中百舌鳥駅前広場活用)

【エリアマネジメント支援】

- 船場倶楽部／一般社団法人ミナミ御堂筋の会 事務局支援
- 株式会社梅小路まちづくりラボ グランドデザイン策定支援

【公民連携事業のプロデュース・コーディネート】

- 奈良市・公園マネジメント計画の検討
- 守口市・賑わい施設検討

【スマートシティ・脱炭素モデル構築】

- 川西市・キセラ川西地区・低炭素化マネジメント
- 大阪ミナミエリア回遊創出・スマートストリート化検討
- JR新駅(奈良市八条・大安寺)周辺地区のAIタウン推進支援

06 エキスパートグループ

■グループメンバー

○絹原 一寛(執行役員、グループマネージャー)

【資格】技術士(建設部門：都市及び地方計画)、一級建築士、認定都市プランナー(景観・都市デザイン)

【社会活動等】関西のテロワールを掘り起こす研究会(通称)かん・ほり研、関西道路研究会・魅力部会、全国エリアマネジメントネットワーク(ミナミ御堂筋の会) など

○山本 昌彰(チーフ)

【資格】技術士(総合技術監理部門／建設部門：都市及び地方計画)、一級建築士、土地区画整理士、再開発プランナー、再開発コーディネーター、認定都市プランナー(市街地整備計画)、マンション管理士、マンション建替えアドバイザー

【社会活動等】再開発コーディネーター協会個人正会員 など

○西村 創(チーフ)

【社会活動等】関西Qの会副会長、大阪市都島区区政会議委員、てんのうじ知りたい倶楽部 など

○羽田 拓也(チーフ)

【資格】技術士(建設部門：都市及び地方計画)

【社会活動等】もうひとつの旅クラブ など

○中井 翔太(チーフ)

【資格】技術士(建設部門：都市及び地方計画)

【社会活動等】船場倶楽部事務局、グリッド状に整備された地域に存在する街路空間の活用検討研究会、COU 大阪市立大学都市計画研究会 など

○馬場 正哲(主席研究監)

【資格】技術士(建設部門：都市及び地方計画)、一級建築士、再開発プランナー、再開発コーディネーター、一級造園施工管理技士

【社会活動等】(公社)日本建築家協会会員、(一社)再開発コーディネーター協会正会員、関西ビジョン研究会、豊中駅前まちづくり推進協議会支援など

都市・地域プランニンググループ

主に都市や中山間地等を対象とした政策課題・地域課題の解決に取り組みます

今求められる「まちづくりの羅針盤」の改定支援（兵庫県まちづくり基本方針改定検討業務）

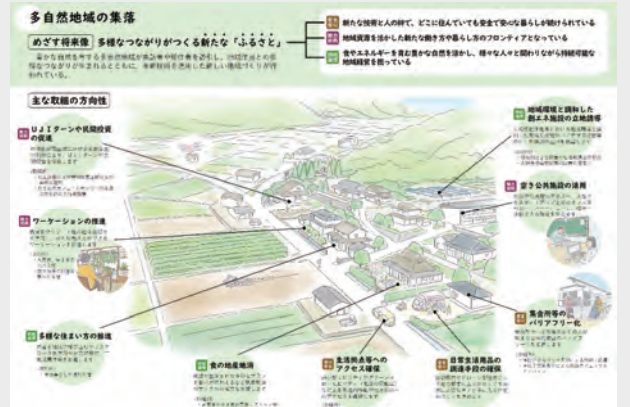
- 現在まちづくりを進める上で人口減少・超高齢化社会の一層の進展や小規模集落の急増などによる地域活力の低下、空き地や空き家の増加、災害の頻発化・激甚化等の課題に直面
- 一方で、脱炭素社会の実現に向けた取組の加速化、革新技術の進展、コロナ禍を契機とした地域分散型の社会構造への転換、SDGs（持続可能な開発目標）に対する意識の高まりなど、まちづくりは新たな局面へ

●まちづくりの羅針盤としてのまちづくり方針

- 地域が相互に補完・連携しつつ、これまでに培われてきた地力を最大限に活用することを目指したまちづくり方針の改定を支援

●地域特性×テーマで将来像と取組を設定

- まちの目指す将来像と取組の方向性を「多自然地域の集落」「地方都市」「郊外住宅地」「都市中心部」に4分類した地域ごとに「安全・安心」「魅力・挑戦」「持続・循環」の3つのテーマから設定



まちづくりとしての景観政策の検討支援（丸亀市景観計画、西宮市景観計画、大東市景観）

- 各自治体が景観計画を策定し、規制誘導を進めるなかで、より地域個性に応じたきめ細やかな対応やそれぞれの相違工夫による魅力的な景観形成の方策を必要としている。
- 表層的なデザインコントロールをするということだけではなく、地域住民等が主体となった景観まちづくりの動きがよく見られるように、総合的な景観施策が求められている。
- また、少子高齢化や代替わりにより、地域資源の喪失がますます深刻化していることから、どう対応していくか、景観法だけでは対処できない課題が挙がってきている。

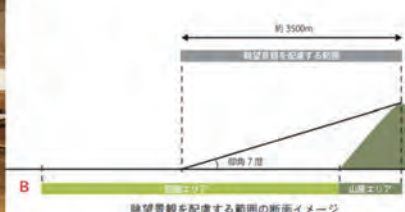
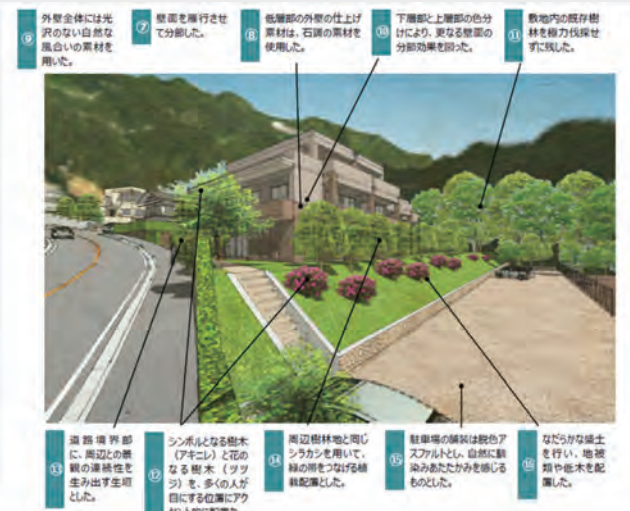
●地域特性に合わせた規制誘導の在り方

- 事業者の相違工夫による景観形成のヒントとなるガイドラインの作成
- 都市のシンボルとなるような眺望景観の保全方策の検討による、地域資源を守り活かした景観形成

●総合的なまちづくり×景観

- 歴史を感じる民家、地域で親しまれてきた建物等、景観資源となる地域資源を守るための仕組みの検討
- 地元住民と地域の歴史的な景観を一体として守っていくための検討会議の開催

など



宮池からのぞむ飯野山
（仰角9度相当）



道池からのぞむ飯野山
（仰角9度相当）

金山駅（名古屋市）周辺の取組（エリア防災計画推進支援、エリアマネジメント方策検討）

- 金山駅周辺地区は、乗降客数が名古屋駅に次いで多いエリアであり、「交通拠点から交流拠点へ～にぎわい・文化・芸術の継承と新たな役割を求めて～」をコンセプトに、市民会館の建替えや駅前の再整備等が中長期的課題として検討されている。
- そのなかでも、帰宅困難者対策やエリアマネジメント等による賑わい創出が喫緊の課題となっている。

●防災計画の実効性を高める

- エリア防災計画は策定済だが、計画への認知度が低く、帰宅困難者のための「退避施設」が不足という課題あり
- 防災計画の実行性を高めるため、計画の周知・PR、退避施設確保に向けた地区内事業者意向の把握を実施

●交流拠点化に向けた賑わい創出

- 駅南北が一体となった賑わい創出、公共空間を活用した賑わい創出が課題
- 全国のエリマネ団体への活動内容に関する意向調査の実施、その結果を踏まえた金山駅周辺での展開方策や管理・運営方法について検討



■2021年度のおもな業務

【都市計画マスタープラン/土地利用計画等】

- 都市計画マスタープラン策定業務（池田市、交野市、丹波市、宍粟市、島本町、播磨町など）
- 稲美北東部地区土地利用基本計画調査業務（稲美町）
- 大阪外環状線沿道土地利用基本計画策定業務（和泉市）
- 用途地域見直し検討業務（尼崎市）

【景観計画】

- 景観計画策定支援業務（西宮市、丸亀市、大東市、島本町など）

【歴史まちづくり・文化財保存活用計画】

- 瀬戸内市文化財保存活用地域計画策定支援業務（瀬戸内市）

【まちづくり計画など】

- 高浜町市街地活性化基本計画（高浜町）
- 地域まちづくり支援業務（和歌山市）
- 田園まちづくり制度見直し業務（加古川市）

【その他】

- 国土強靱化地域計画策定支援業務（西栗倉村）
- 貯木場利活用ビジョン策定支援業務（岸和田市）
- 金山駅周辺の回遊性・快適性向上に向けたエリアマネジメント方策検討調査業務（名古屋市）
- 金山駅周辺地区エリア防災計画の推進等に係る支援業務（名古屋市）
- グレーターミナミの機能強化に関する調査（大阪商工会議所）

08 エキスパートグループ

■グループメンバー

- 岡本 壮平（取締役大阪事務所長、グループマネージャー）

【資格】技術士（建設部門：都市及び地方計画）、一級建築士、認定都市プランナー（土地利用計画）

【社会活動等】JUDI都市環境デザイン会議関西ブロック

- 石川 聡史（チームマネージャー）

【資格】技術士（建設部門：都市及び地方計画）

- 清水 紀行（チームマネージャー）

【資格】技術士（建設部門：都市及び地方計画）、RCCM（都市計画及び地方計画）、認定都市プランナー（総合計画）

【社会活動等】日本計画行政学会関西支部 事務局（幹事）、関西の水辺空間/都市再生研究会（事務局）

- 松下 藍子（チーフ）

【社会活動等】日本都市計画学会関西支部（編集広報委員会）

- 末次 優花（チーフ）

【資格】博士（農学）、技術士補（環境部門）、樹木医補、学芸員

【社会活動等】日本景観生態学会（企画交流委員会）、鳥取県立 大山オオタカの森保護員

- 植田 啓太（研究員）

- 竹中 健起（研究員）

- 福井 秀樹（主幹／名古屋）

公共マネジメントグループ

ヒューマンで科学的な地域経営の仕組みをつくる

【PICK UP】あなたや私の安心が守られる地域社会づくり

大変革の時代、地域社会の変化を統合的に捉えた計画策定へ。

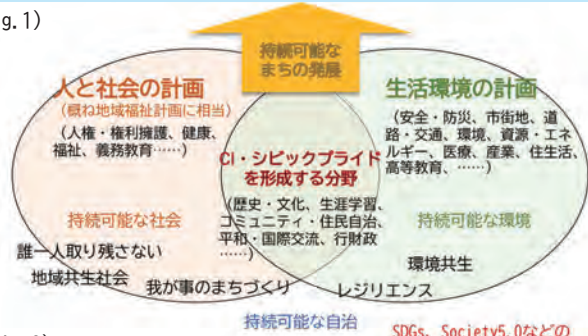
従来、「まちづくり」は「生活環境」に重心が置かれ、「人と社会」面は、市民憲章や自治基本条例、人権・福祉計画等が担ってきました。しかし、今日的課題の根幹は、コミュニティ・市民自治、地域福祉、生涯学習など、「生活環境」と「人と社会」の分野で重なりあっています (fig.1)。

従って、地域社会の変化を「生活環境」と「人と社会」の両面から統合的に捉えたうえでこれからの人と社会のあり方を構想し、安心して持続可能な「地域社会像」をプランニングしていくことが求められます。

その際のキーワードは次の3点と考えます。

- 「人生100年時代」となり、加速する「ライフコースの脱標準化」に応える。
- まちづくりのステークホルダーを幅広く捉えて「新たな住民像」を共有する (fig.2)。
- 地縁コミュニティを守りながら、しなやかな強さを備えた「濃淡多様に関わりあう、多層・多様なコミュニティ」を志向する (無縁社会化を防ぐ)。(fig.3)

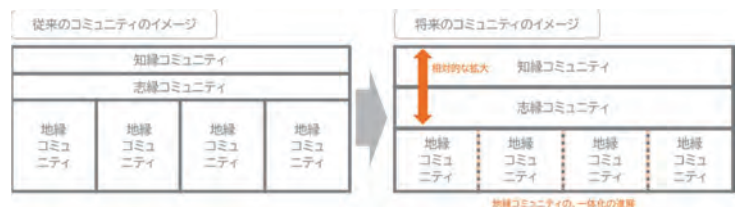
(fig.1)



(fig.2)



(fig.3)



<地域福祉計画の策定が始まったころ>

福祉「主要」3部門の体制整備・充実

高齢福祉の計画・サービス需給体制の整備

障がい福祉の計画・サービス需給体制の整備

児童福祉の計画・サービス需給体制の整備

隙間補完&下支えの地域福祉計画
主要3部門の隙間を埋め、「地域福祉推進の主体である地域住民等の参加を得て」地域の生活課題に対応するもの。

(「共助が軸」「地縁的」な性格の強調)

<現状>

“福祉”の上位計画としての地域福祉計画

「地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉その他の福祉の各分野における共通的な事項」を記載するもの。

高齢福祉の計画・サービス需給体制整備の安定化

障がい福祉の計画・サービス需給体制整備の安定化

児童福祉の計画・サービス需給体制整備の安定化

自殺対策、8050問題、子どもの貧困(ひとり親)対策、権利擁護(成年後見制度利用促進)……

より個別的・複合的な生活課題への対応の強化
(“福祉”のセーフティネット的な性格の強調)

取り組みの重心が個別的・複合的な課題に移動

地域福祉計画のあり方

地域福祉は、制度上の受益対象が限定的であることから、「社会の安心」「みんなの安心」を担う、社会保障全般の問題であることが見過ごされがちです。さらに、地域福祉は「共助が軸」「地縁的」「セーフティネット的なもの」という誤解も生じやすくなっています。むしろ、地域福祉の本来の役割は、人口急減期に向かうなかで、「人と社会」の安心をどのようにつくっていくのかという点にあり、自治体の最上位計画である総合計画のレベルで論じられるべき事項といえ、今後そうした制度設計を視野に入れています。

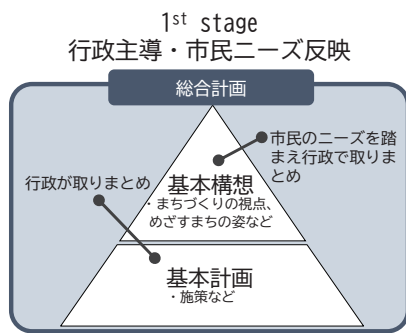
“福祉の協働”から“まちづくりの協働”へ、プラットフォームをアップデート

	地域福祉の課題や取組アイデアの例	まちづくり全体で“化学反応”を期待できる論点の例
今後の取組が重要な地域福祉の主なテーマ	包括的支援体制の構築	・ 保健・医療資源の適正利用とMSWなど ・ コメディカル機能の強化 ・ エリアマネジメントの展開 ・ ワーキングコースを活用した健康づくり
	地域福祉における子ども分野との連携強化	・ コミュニティ・スクールの展開 ・ 保育・学校教育施設の有効活用と地域 ・ サロン機能への支援
	災害発生時の支援体制の強化	・ 障害特性等に対応できる避難所・設備・備蓄の確保 ・ 避難所運営等でインテークとトリ ・ アージに対応できるソーシャルワ ・ーカーの育成 ・ 災害時受援体制の整備
	地域活動の担い手の確保	・ 省エネ・創エネを踏まえた都市防災 ・ マンション管理組合の活動支援 ・ 空き地の防災拠点化
	居住支援の充実	・ 近隣自治の仕組みの刷新と地縁コ ・ ミュニティDXの推進 ・ 移住人口、交流人口・関係人口の誘引 ・ と広域連携 ・ 公共空間を活用した賑わいづくり
		・ 空き家のセーフティネット住宅化 ・ リバース・モーゲージの促進 ・ 居住支援協議会の設立、居住支援法人 ・ との連携 ・ 宅配サービス等の民間事業と行政サ ・ ービスの連携

【PICK UP】住民と行政の総合計画づくり～作り手としての若者の参画～

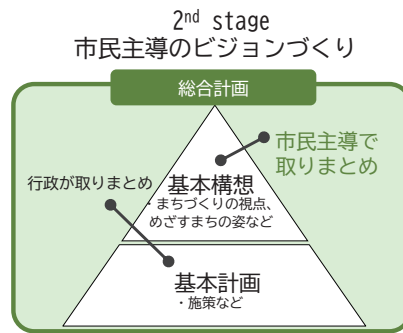
公共マネジメントグループでは、自治体の置かれている状況や課題に即して、様々な住民参加方式や計画アイテムを備えた総合計画づくりをお手伝いしています。

総合計画策定に向けた、行政と住民の関わり方～これまでの策定支援の経験から～



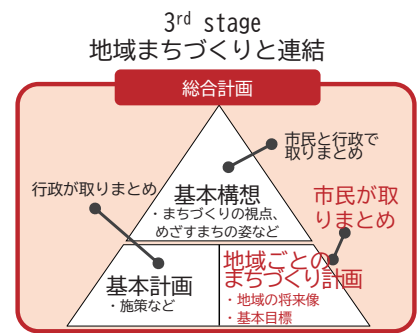
【概要】

アンケートや意見交換会などにより、広く地域の意見を聴きながら、行政が基本構想案を作成



【概要】

左記に加え、住民ワークショップによるめざすまちの姿の提言等を受けて基本構想案を作成

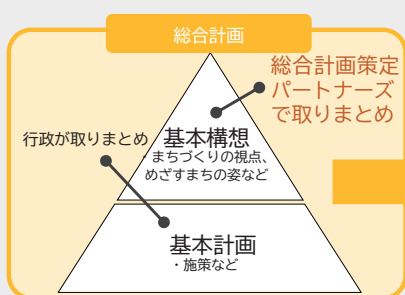


【概要】

左記に加え、地域特有の課題解決に向け、住民が主体となって基盤となる地域別まちづくり計画を策定し、これを含めて総合計画を構成。

2nd stage+ (第5次三田市総合計画策定過程)
総合計画の作り手意識を持った若者の参画&策定過程での住民参画の拡大

住民とともにめざすまちの姿を考えるステージから、計画策定過程で住民が関わる機会を増やし、住民が主体的に啓発活動等を実行するステージに突入



三田市総合計画策定パートナーズによる取組

STEP1

住民ワークショップで、ファシリテーターを担当

STEP2

住民ワークショップ終了後に、計画策定に向けた住民参画を促進するアイデアを検討

STEP3

10年後の将来像を住民含め三田市に関わる人に、身近に感じてもらえる『まちのイメージコピー』案をワークショップ結果から考案

※三田市総合計画策定パートナーズは、総合計画策定を通して、若者がまちづくりに関わる機運を高めることを目的に、市内若手事業者や学生、若手職員によって結成されました。

STEP4

『まちのイメージコピー投票を実施』住民の関心を高めるための仕組み（三田2022→2032 さんだ未来キャンペーン）を考案し実施

STEP5

まちの魅力を感じてもらい、総合計画に関心を持ってもらうための動画を企画し作成

■2021年度のおもな業務

【総合計画、総合戦略等】

- 次期京都市基本計画策定に関する取組業務（京都府京都市）
- 次期各区基本計画策定に向けた取り組み支援（京都府京都市）
- 第5次亀岡市総合計画策定支援（京都府亀岡市）
- 笠置町総合計画策定支援（京都府笠置町）
- 第7次池田市総合計画策定支援（大阪府池田市）
- 茨木市総合戦略及び国土強靱化地域計画策定支援（大阪府茨木市）
- 第五次大阪狭山市総合計画策定支援（大阪府大阪狭山市）
- 岬町新総合計画等策定支援（大阪府岬町）
- 第6次宝塚市総合計画策定支援（兵庫県宝塚市）
- 人口ビジョン改定及び第2期総合戦略策定支援（兵庫県宝塚市）
- 第6次伊丹市総合計画策定支援（兵庫県伊丹市）
- 第5次三田市総合計画策定支援（兵庫県三田市）
- 総合計画及び総合戦略等策定支援（兵庫県加古川市）
- 橿原市第4次総合計画等策定支援（奈良県橿原市）
- 第6次日野町総合計画策定支援（滋賀県日野町）
- 第6次多賀町総合計画・多賀町都市マス策定（滋賀県多賀町）
- 次期高浜町総合計画策定支援（福井県高浜町）

【広域計画等】

- 新・関西観光・文化振興計画（仮称）策定（関西広域連合）
- 京都市圏自治体ネットワーク会議等運営補助（京都府京都市）

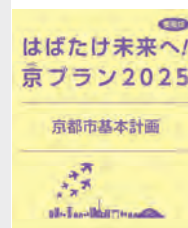
【公共施設マネジメント】

- 福知山市公設地方卸売市場のあり方推進支援（京都府福知山市）

【福祉計画等】

- 第二期倉敷市子ども・子育て支援事業計画概要版作成（岡山県倉敷市）
- 松山市子どもの未来応援プラン策定（愛媛県松山市）
- 第9次高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画策定（京都府長岡京市）
- 第3次東近江市男女共同参画推進計画策定業務（滋賀県東近江市）
- 枚方市成年後見制度利用促進計画策定等業務委託（大阪府枚方市）

10 エキスパートグループ



■グループメンバー

【京都チーム】

- 廣部 出（チームマネージャー、社会福祉士、精神保健福祉士）
- 渡邊 美穂（チーフ）

【大阪チーム】

- 田口 智広（プロジェクトマネージャー、技術士）
- 石井 敏史（チーフ、技術士）
- 石川 俊博（チーフ）
- 水野 巧基（チーフ）
- 小阪 昌裕

生活デザイングループ

豊かな「住」と「コミュニティ」を生み出す仕組みと仕掛け

【PICK UP】マンション管理適正化に向けた現状と課題

■分譲マンションの管理に関する課題点

- ・分譲マンションは、1つの建物を多くの人で区分して所有し、区分所有者からなる「管理組合」が運営を行います。分譲マンションで建物の適切な維持管理を行うためには、共同生活に対する意識の相違や多様な価値観がある中での合意形成が必要です。
- ・建設後相当の年数が経った分譲マンションが増加していますが、建物と所有者の「2つの老い」が進行し、合意形成や適切な管理運営が困難となる恐れが指摘されています。分譲マンションは規模が大きいものも多く、周辺への都市環境の低下も懸念されます。

■分譲マンション管理適正化に向けた取り組みがスタート！

- ・このような社会課題が認知されてきた中で、マンションの管理の適正化の推進に関する法律が改正され、自治体において、分譲マンションの管理の適正化の推進を図るための施策等を定める「マンション管理適正化推進計画」の作成や、適切な管理計画を有するマンションを認定する「管理計画認定制度」が運用できるようになりました。

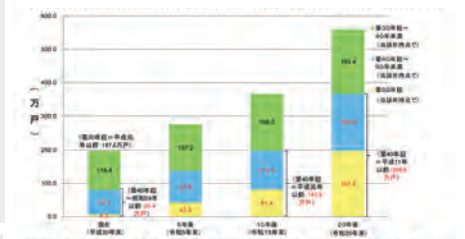
■今後の課題

- ・現時点では、法改正に基づく取組は十分には推進されていない状況にあり、管理計画認定がマンション評価に繋がる・税制優遇が得られるなど、管理組合にとっての制度活用のメリットを高めることが重要です。
- ・我々も計画策定の中で、制度運用に関する提案などを行い、分譲マンションの管理適正化を推進する役割を担っていきたいと思います。

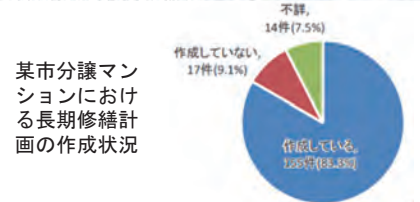
管理状況に課題のあるマンションの事例



高経年マンションストックの増加（全国）



※国勢調査の調査対象となる分譲マンションの戸数は、国と交通省が把握している数と市町村の戸数を基に推計した戸数。2020年、2010年、2000年の調査結果を基に推計した。2020年の調査結果は、調査結果と推計値を基に推計した平成30年末のストック分布を基に推計した。



■2021年度のおもな業務

【住宅政策】

- 住生活基本計画等
(愛媛県・豊中市・調布市)

【公営住宅の再生】

- 公営住宅長寿命化計画等
(奈良市・所沢市)

【空き家対策】

- 空家等対策計画(川崎市・姫路市)
- 京都市空き家相談員支援
- くらしき「空家とまちづくり」
車座ミーティング実施

【マンション管理適正化】

- マンション管理適正化推進計画
(茨木市・豊中市)

【ニュータウン・団地の再生】

- 千里ニュータウン及び周辺団地におけるストック再編検討(UR)
- 八尾市宮西郡住宅建替事業に係る
PFIアドバイザリー業務

【市民活動・地域コミュニティ支援】

- 茨木市地域活動の活性化WS
- いこまのミライを回す会議
- 洛西竹林公園こどもの広場
リニューアルパンフレット作成

【TOPIC】

八尾市宮西郡住宅建替事業に向けた「ご意見をお聞きの場」の開催

PFI法に基づく建替事業に向けて、建替予定住棟の入居者を対象とした「ご意見をお聞きの場」を開催し、要求水準書等へ入居者の希望を反映しました。



【TOPIC】

愛媛県住生活基本計画における市民が手に取りやすいデザインの概要版冊子の作成

愛媛県住生活基本計画の内容を市民にも広く知っていただくため、テーマを絞り、愛媛で活躍する人にクローズアップしたインタビュー形式でまとめました。また、親しみを持って手に取ってもらえるように、目を引くようなデザインの冊子に仕上げました。



【TOPIC】

再整備素案作成に携わった公園の広報資料作成とあそび場づくりの実施

リニューアルオープンした「洛西竹林公園内子どもの広場」の広報パンフレットを業務として作成するとともに任意団体を立ち上げ、子どものあそび場づくりの活動を行いました！



■グループメンバー

- 嶋崎 雅嘉(執行役員、生活デザイングループマネージャー 技術士(建設部門・都市及び地方計画))

- ・榎原本陣遺構の活用プロジェクトにもチャレンジ中！

- 岡崎 まり(チーフ 一級建築士)
- ・価値観の多様化や人生100年時代に向けたライフデザイン系の業務にもチャレンジしています。

- 竹内 和巳(チーフ)
- ・今年度も自身が整備に関わった公園の活用に向けて、有志で子どもの遊び場づくりにチャレンジします！

- 太田 雅己(メンバー)
- ・業務外でも地元の淡路島や大阪市大正区などで、空き家活用に向けた活動に取り組んでいます！

- 内野 絢香(メンバー)
- ・居場所を見つけるため、フットワークは軽めにいろんなまちへと出かけています！

- 橘 千香子(デザインスタッフ)
- ・読み手に近い立場から、伝わりやすいデザインを心掛けています。

地域再生デザイングループ

暮らしとにぎわいを支える地域再生

【PICK UP】社会の変化に柔軟に対応する地域づくりに拘る

“まち”は、常に社会変化への対応を求められている

- ・1998年に中心市街地活性化法が制定されてから、すでに四半世紀を迎えようとしています。
- ・当初、郊外化や車社会への対応が主題でしたが、急速に人口減少、少子高齢化が進む中、高齢者福祉や子育ての重要性が問われるようになってきました。
- ・また、地域の歴史の再評価やグローバル化から、インバウンドへの対応も求められるようになりました。
- ・今後、DXの進展や、アフターコロナやニューノーマルへ対応できる地域づくりが求められます。我々は、社会変化に柔軟に対応できる地域づくりに拘ったアプローチを続けます。

“つくる”から“つかう”視点でのまちづくり

- ・社会の変化に柔軟に対応するため、計画から事業化に加え、マネジメントにコミットすることが、プランナーにも求められると考えています。
- ・昨年、中心市街地活性化計画、街並み環境整備事業をお手伝いした東近江市の新地の町家を借り、滋賀営業所を開設しました。
- ・単なる営業所としてだけでなく、まちのプレイヤーとして何ができるのか、試行錯誤しながら、これからのプランナーの役割を模索する拠点と考えています。



KUSATSU・COCORIVA
(草津市・草津川跡地公園)
伝統文化伝承・未来創造プロジェクト
(演芸場・店舗) (八王子市)



狭山池公園内の商業店舗 (大阪狭山市)

■2021年度のおもな業務

【市街地再生計画】

- 中心市街地活性化基本計画策定支援 (東近江市, 徳島市, 伊丹市)

【商店街再生事業・計画】

- 町家リニューアル事業 (滋賀営業所開設 (東近江市))

【アフターコロナのまちづくり】

- まちづくり提言書作成 (名古屋商工会議所)

【街並み再生計画】

- 景観形成・保全促進業務 (茨木市)

【PFI事業】

- 公営住宅に係るPPP/PFI 導入推進事業 (御所市, 中野市, 氷川町: 国交省)
- 公営住宅PFI導入可能性調査/アドバイザー業務 (神奈川県, 静岡市, 鳥取県)
- PFI維持管理・運営業務モニタリング支援 (清水文化会館 (静岡市))

【PPP事業 (公有地活用)】

- 駅前市有地での官民連携事業 (八日市駅前, 能登川駅前 (東近江市))
- 公営住宅集約化に伴う余剰地活用事業 (楽只住宅団地 (京都市))
- 中心市街地空地への文化交流施設整備事業 (中町PFI外 (八王子市))

【公園整備・P-PFI事業】

- P-PFI事業化検討 (スケートパーク (川崎市))
- 公園マネジメント計画策定支援 (奈良市)

【健康・スポーツ施設整備】

- スポーツ振興計画策定支援 (大阪市)
- スポーツ施設整備/再整備計画策定支援 (国体主会場 (奈良県), 運動公園等スポーツ施設 (橿原市))

【産業支援施設整備】

- 産業イノベーション施設整備に向けた調査 (東京都, 奈良県)

【中山間地再生】

- 地域資源発信事業 (木地師 (東近江市))

【集客施設整備】

- 道の駅整備基本構想/計画/再整備計画策定支援 (加西市, 姫路市, 竜王町)



かつての花街の町家事務所
滋賀営業所 (東近江市)



奈良県国体主会場
イメージ



《仮称》道の駅加西
イメージスケッチ

■グループメンバー

- 三木健治 (取締役京都事務所長、グループマネージャー)

- ・技術士
- ・認定都市プランナー

- 石井努 (チームマネージャー)
- ・技術士補

- 堂本健史 (チームマネージャー)
- ・宅地建物取引士

- 木下博貴 (チーフ)

- 山本貴子 (チーフ)
- ・技術士
- ・土地区画整理士
- ・認定准都市プランナー

- 浅田麻記子 (チーフ)
- ・認定准都市プランナー

- 小川直史 (チーフ)

- 高瀬咲 (研究員)
- ・技術士補

- 辻寛太 (研究員) R4入社
- ・二級建築士

- 松尾高志
- ・技術士

地域産業イノベーショングループ

①中小製造業の成長戦略に資する「ナレッジ・マネジメント」

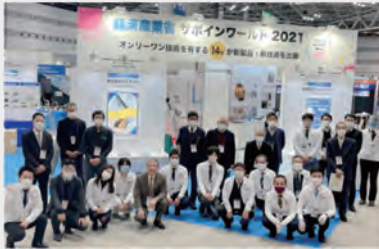
■古くて新しい「知的資産経営」

- ・ **ポイント**：知的資産とは、人材・技術・ネットワーク・ブランドなど、企業が保有する「目に見えない資産」のこと。特許やノウハウなどの知的財産のみならず、企業の強みとなる資産を総称する幅広い考え方。いわば「企業の競争力の源泉」です。
- ・ **弊社の取組**：中小企業が自らの強みを認識し、社内外の資源と組み合わせることで成長戦略を描き、収益につなげる「知的資産経営」が拡がりつつあります。私たちの現場でも関連業務が増えています。

■コア技術に注目したアライアンス

- ・ **ポイント**：戦略的基盤技術高度化支援事業（いわゆるサポイン事業）で生まれた製品の販路開拓に従来から取り組んでいます。加えて、その製品を生み出した「中核技術」に着目、大企業OBや専門家の知見やNWを生かして、新たなアライアンスに繋げています。
- ・ **弊社の取組**：十年程前に近畿で取り組んだのを皮切りに、各地で展開しています。コロナ禍でしたが、昨年度も中国・九州にて実践しました。

※注1



■中小製造業のオープンイノベーション

- ・ **ポイント**：中小企業の技術課題の解決に際して、大学や公設試との連携も有効です。
- ・ **弊社の取組**：大学・公設試・支援機関・金融機関が連携し、中小企業の技術課題を解決するオープンイノベーションのPF「Tech Connect KANSAI」の事務局を数年来担っています。
- ・ また、京都信用金庫さんのアレレンジによる伝統産業×大企業の開放特許による「令和鉄扇」などもリリースされました。※注2



■中小企業間の第三者承継による地域産業の維持

- ・ **ポイント**：経営者の高齢化と後継者不足等から中小企業の休廃業が増加。令和6年までに約650万人の雇用、約22兆円のGDP、更にサプライチェーンの喪失が見込まれます。
- ・ **弊社の取組**：中小企業間の「第三者承継」を促すことで、地域の雇用と産業を守るための挑戦を支援しています。※注3



②農業・観光等を基軸とした地域活性化

【PICK UP】国民が食する生鮮食品流通を担う「卸売市場の再生」

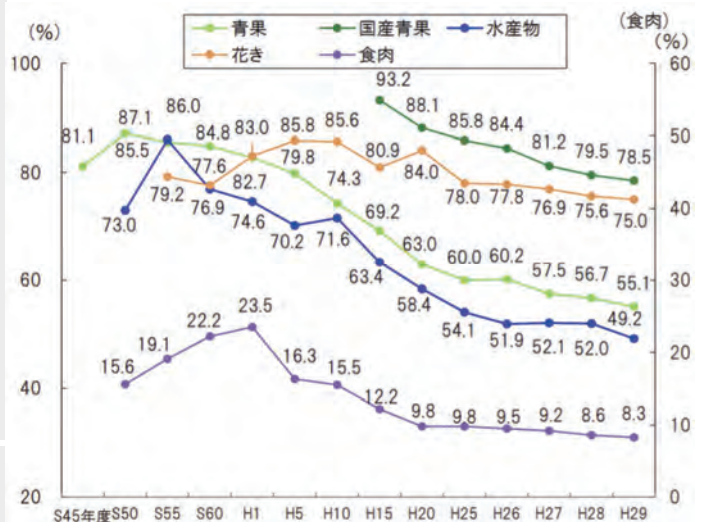
■全国200か所以上ある公設卸売市場を取り巻く状況

- ・ 全国数多くの「産地」から「都市」へ生鮮食品を届ける拠点が卸売市場で、全国に1,000か所以上、うち地方自治体が設置する公設も200か所以上あります。
- ・ 産地との直接取引や直売所等の増加により卸売市場経由率は減少傾向にあります。国産青果物の8割近くは卸売市場を経由する重要な食流通インフラです。
- ・ しかし卸売市場の多くは施設の老朽化が進行し、衛生面や効率面等の機能が十分ではなく、また人口減少・少子高齢化の中で、食需要の減少は確実な未来です。さらに、2020年の改正卸売市場法施行によって規制緩和が進み、公設市場の開設・運営への民間参入も含めて、市場独自で運営や活性化、再整備等について戦略が必要となっています。

■取組ポイント

- ①調査や経営戦略検討と再整備検討、そして事業手法検討の3つの部分を一通貫で対応
- ②卸売市場に関する豊富な実績や情報をもとに、開設者や場内業者とともに、各社の経営展望も踏まえた現実的な検討を支援
- ③食関連産業振興の視点や市場周辺まちづくりの視点、市民目線の視点から最適解を追求
- ④市場の個別事情に応じた民活手法（PPP/PFI）やサウディング調査などを提案

卸売市場経由率の推移（重量ベース、推計）



資料：農林水産省

【近年の関連業務で関わった卸売市場（開設自治体）】

※建築プランニング・デザイングループと連携しています。

- 山形市（2019-20） ●浜松市（2020） ●川崎市（2019-20）
- 名古屋市（2019） ●東近江市（2019） ●豊田市（2017-19）
- 岐阜市（2018） ●富山市（2017-18） ●奈良県（2016-17）
- 大津市（2013-14） ●松山市（2012） ●大阪市（2012） 等

■2021年度のおもな業務

【都心商業／まちづくり支援】

- 誘導型まちづくり支援業務<梅小路界隈>(京都市)
- まちづくり活動支援コーディネーター派遣業務(祇園四条地区)(京都市景観まちづくりセンター)

【産業振興／ものづくり支援】

- 関西オープンイノベーション促進事業(近畿経産局)
- 企業による価値共創事業の実態調査(同上)
- 知財ビジネスアイデア学生コンテスト開催事業(同上)
- 「J-StartupKANSAI追加選定企業」実態調査(同上)
- 中国地域ものづくり中小企業事業化支援事業(中国経産局)
- 戦略的基盤技術高度化支援事業等に係る評価支援業務(九州経産局)
- 第2次和光市産業振興計画策定業務(和光市)

【産業拠点整備】

- オープンイノベーションファクトリーに関する調査(東京都)
- スタートアップ支援施設等整備検討業務(奈良県)
- 中百舌鳥エリアを中心としたイノベーション創出に向けた事業計画等支援業務(堺市)
- 貯木場利活用ビジョン策定支援業務(岸和田市)

【ブランディング／海外展開支援】

- 地域ブランド展開マーケティング支援事業(近畿経産局)
- 食品関連事業者の中国、ロシアへの輸出に向けた知財活用・ブランド化推進事業(九州経産局)
- 中国及びベトナム市場への県産品輸出可能性調査業務委託(熊本県)

【創造都市支援】

- 文化芸術創造都市推進事業(文化庁)
- 芸術文化振興プラン策定及び芸術文化振興に関する条例制定支援業務(八尾市)

【地域振興／観光にぎわい支援】

- 「発酵産業」成長促進化プロジェクト商品・サービス化支援業務(滋賀県)
- 観光戦略プラン改定(姫路市)
- 観光振興計画(猪名川町)、大野山将来ビジョン
- グレーターミナミの機能強化に関する検討業務(大阪ガス)

【農業振興等の計画策定】

- 上場地域農業構想(佐賀県)
- 農業振興ビジョン(富田林市)
- 農業振興計画(小金井市)
- 農業振興地域整備計画(三木市)
- スーパー中山間地域創生事業地域戦略(山鹿市)
- 農業振興ビジョン<基本構想>(竜王町)

【農村地区活性化】

- 南河内フルーツプラットフォーム形成(大阪府)
- 京都府農村集落のコミュニティ再構築(京都府)
- 大岩地区営農支援<石河土地改良区>(茨木市)

【卸売市場／食流通／拠点活性化】

- 卸売市場の再整備基本構想(秋田市)
- 農業公園のあり方検討(富田林市)

【その他事業検討・支援等】

- 多面的機能支払活動に関する支援(大阪府農空間保全地域協議会)
- オープンたかつきネットワーク会議運営



■グループメンバー

- 山口 泰生(研究員)
 - ・ピカピカの新人/同和地区のまちづくりがライフワーク
 - 有田 建哉(研究員)
 - ・大手鉄道会社からの転職組/世界三十数か国の放浪体験
 - 遠藤 真森(研究員)
 - ・豊岡市役所に出向中/農村をこよなく愛するオトコ!
 - ホアンゴックチャン(研究員)
 - ・越南出身のトリリンガル/グローバル展開の水先案内人
 - 山部 健介(チーフ)
 - ・産業・商業・観光を幅広くカバーする若手ホープ
 - 西河 公嗣(研究員)
 - ・新聞社からの転職組/鍛えられた文章力が自慢
 - 益山 周三(研究員)
 - ・HPから漫画まで熟すデジタル・クリエイター
 - 松田 剛(研究員)
 - ・技術開発や知財活用に係るP Fディレクター
 - 貴船 律子(プロジェクトマネージャー)
 - ・東京・首都圏担当/産業政策のスペシャリスト
 - 武藤 健司(チーフ)
 - ・農業・農村政策担当/技術士(農業部門)/野菜ソムリエ
 - 江藤 慎介(チームマネージャー)
 - ・創造都市・循環経済担当/二級知的財産管理技能士
 - 高野 隆嗣(執行役員、グループマネージャー)
 - ・技術士/認定都市プランナー(都市・地域経営)
- ※「京都産業政策研究会」の事務局運営

サステナビリティマネジメントグループ (ラボチーム)

SDGs／気候変動／スマート／木／人材育成／社会実装

【PICK UP】森林環境譲与税活用検討～都市木モデル創出～人材育成

■脱炭素化・地域経済に貢献する都市での木材活用

- ・ 気候変動影響が顕在化する中、国土の保全や水源の涵養や脱炭素化の文脈から、森林環境譲与税が創設され、森林整備、木材活用が着目されています。
- ・ 市町村の森林環境譲与税活用に向けたビジョン策定から、木材調達・活用支援、人材育成まで地域の製材事業者等と連携し、取り組んでいます。

■当社の取組ポイント

- ①森林整備～木材活用まで川上～川下まで一貫した取組支援
- ②地域の事業者（製材事業者等）と連携したプロジェクト組成
- ③市町村、設計士等向け担い手向け人材育成



- ①② 立木調査～製材発注支援～公共建築材供給支援（神戸市）
③ 風倒木を活用したスマートアンブレラデザインコンペ実装支援

【近年の森林・木材関連業務】

- 森林事業の事業化-kikioプロジェクト-(滋賀県湖東地域)
- 森林環境譲与税を活用した森林整備実施計画策定、木材コーディネート業務など（神戸市）
- 森林・林業ビジョン等策定支援（多可町、豊岡市、柏原市）
- 福知山千年の森づくり基本計画策定支援（福知山市）
- 都市空間における木造木質化関連(兵庫県林業会館、関西将棋会館、スマートアンブレラデザインコンペPJ)
- 地域内木材循環-おおさか都市木循環プロジェクト-（（一社）大阪府木材連合会／顔の見える木材での快適空間づくり）

*令和3年度森林・林業白書（P35）掲載プロジェクト

■2021年度のおもな業務

【環境基本計画】

- 環境基本計画（精華町、八幡市）

【気候変動・脱炭素】

- 気候変動適応広域アクションプラン策定（中国四国地域、近畿（普及啓発事業））（環境省）
- 市町村低炭素まちづくり推進支援（愛知県）
- 再生可能エネルギー導入戦略策定（京丹後市、半田市）
- スマートエリア形成可能性調査等（福井県、高浜町、奈良県、NAKAMOTOイノベーションコア創出コンソーシアム）
- 地域循環圏形成プラン策定（愛知県）
- 次世代交通システム（MaaS）検討（熊本県）
- 地球温暖化対策実行計画（赤穂市、武豊町、京田辺市）

【木材活用・森林・生物多様性】

- 森林環境譲与税を活用した森林整備実施計画策定、木材コーディネート業務など（神戸市）
- 森林・林業ビジョン等森林に関する計画策定支援（多可町、豊岡市、柏原市、福知山市）
- 総合射撃場運営検討支援（兵庫県）
- 上山高原自然再生事業支援（兵庫県）
- 東条川疏水ネットワーク博物館運営支援（兵庫県）

【SDGs・人材育成】

- SDGs未来集落形成モデル事業（真庭市）
- 脱炭素×SDGsオーガナイザー育成事業（兵庫県）
- 脱炭素経営スクール事業企画運営（豊田市）
- 地方創生による持続可能なまちづくりに関する調査分析（宝塚市）

■グループメンバー

- 中川 貴美子：公私ともに、木分野の展開に邁進中。（チームマネージャー／技術士（環境部門）・准木材コーディネーター）
- 植松 陽子：中部地域で脱炭素化に奮進中（チーフ）
- 豊福 宏光：異分野（文化芸術）から参画し3年目に突入（チーフ）
- 駒 和磨：環境省への出向の経験を活かし、脱炭素関連業務に精励（チーフ）
- 佐藤 拓也：ソーシャルテクノロジーオフィサーとして全社的に活躍中（STO）
- 栃本 大介：（公財）ひょうご環境創造協会より出向にて、適応などジョイン（上席研究員）
- 森野 真子：100%在宅勤務を実践中（サポートスタッフ）
- 霜倉 妙：育休から復帰（サポートスタッフ）
- 畑中 直樹
（取締役 新領域担当 グループマネージャー 兼名古屋事務所長／博士、認定都市プランナー／総務省 地域力創造アドバイザー等）

■社会活動等

- 兵庫県立森林大学校講師（畑中／中川）
- 他 グループマネージャー（畑中）を大学・団体役員・委員・講師等へ派遣多数。総務省 地域力創造アドバイザー等

サステナビリティマネジメントグループ（リサーチチーム）

資源循環・サーキュラーエコノミー／脱炭素等による 環境と経済が両立する社会

プラスチック問題解決へのアプローチ

- ・ 海洋プラスチックごみ、気候変動などをきっかけに、プラスチックの資源循環の向上が要請されています。
- ・ 家庭や事業者のプラスチック排出実態調査、製品プラスチックの収集・資源化実証、資源化コスト・CO2削減量の試算、事業モデルの立案、代替製品の提案など、多様な方法で取り組んでいます。



▲家庭ごみ中の製品プラ



▲海岸に漂着した大型プラ



▲プラスチック循環モデルの提案



■業務実施のポイント

- ①イメージ先行のプラごみ対策について、レジ袋や容器プラ等についての長年の経験による知見の蓄積
- ②プラごみの資源化推進社会実験、リサイクル事業者と協力した事業化プロジェクトの支援等多くの実績

食品ロスの調査～減量・資源化支援

- ・ 「食品ロス」が大きな問題となっています。2019年には食品ロス削減法ができました。また、SDGsのターゲット12.3にも食品ロスが取り上げられています。
- ・ 食品ロス発生量などの現況把握から、地域に適した食品ロス削減対策の提案や社会実験の実施、食品ロス削減推進計画の策定まで、幅広く取組を行っています。

■業務実施のポイント

- ①市民モニター調査・店頭での販売実験・ごみ組成調査など、食ロスに幅広くアプローチ
- ②食品ロス削減に向けた社会実験や事業者支援など、事業化が進みつつある取組も多い



▲コンビニの食品ロス



▲家庭の食品ロス

▲食品ロスのワークショップ

■2021年度のおもな業務（抜粋）

【食品ロス関連業務】

- 豊中市（食品ロス削減推進計画の策定）
- 吹田市（食ロス削減計画を含むごみ処理基本計画）
- 愛知県（事業系食品ロスの排出実態等の調査）
- 大阪市、堺市、生駒市、八尾市、木津川市（食品ロス調査を含む、家庭系・事業系一般廃棄物の調査）

【廃プラスチック関連業務】

- 愛知県（プラスチック循環モデルを含む「サーキュラーエコノミー推進プラン」の作成）
- 京都市（製品プラスチックの収集・資源化に向けた実証事業）
- 京都府・岐阜県（廃プラスチックの排出実態調査）

【その他の廃棄物関連調査・計画】

- 大東市・河内長野市（収集業務の効率化等の調査）
- 芦屋市（指定袋導入に関する検討及び一般廃棄物処理基本計画の策定）
- 埼玉県清掃行政研究協議会（県内自治体における近年の課題等の調査）

【地球温暖化対策・気候変動適応】

- 三重県（気候変動が県内の養殖漁業（ノリ・真珠・マダイ）に与える影響の評価の検討）
- 八幡市（環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定）

■チームメンバー

- 長沢 弘樹：分野（廃棄物～気候変動適応）、手法（基礎調査～社会実装支援）とも、幅広く取り組んでいます（チームマネージャ／技術士・衛生工学部門廃棄物管理）
- 齋藤 友宣：昨年からチームに加わりしました。スーパーや生協と協力した食品ロス削減の社会実験などの実績が豊富なほか、災害廃棄物対応・処理などが得意です（チーフ）
- 伊藤 栄俊：ごみ組成調査を中心にしつつ、環境省出向時に手がけた脱炭素事業など、様々な方面に業務を広げています（チーフ）
- 桜井 寛：ごみ処理基本計画や災害廃棄物処理計画の策定をメインに担当するほか、アンケートや将来予測など基礎的な調査を多く担当しています（研究員）
- 佐土井 達也：組成調査やその取りまとめなどを中心に担当しています（研究員）
- 畑中 直樹（取締役 グループマネージャー兼名古屋事務所長／博士、認定都市プランナー）

■社会活動等

- 学会活動（廃棄物・資源循環学会）など、幅広く取り組んでいます

建築プランニング・デザイングループ

2つのそうぞう力をもって人とのつながりをデザインする

【PICK UP】子どもたちがワクワクする山小屋を建築する～ゆうりん山小屋「あおむし」～



【「あおむし」外観】

- 構造：鉄骨造
- 敷地面積：550.61㎡
- 階数：2階建
- 建築面積：93.48㎡
- 工事期間：令和3年5月～令和3年11月
- 延床面積：133.88㎡

岐阜県郡上市ひらが野の別荘地に、児童養護施設の子どもたちが利用できる山小屋の設計監理を行いました。施主である社会福祉法人中央有鄰学院との打合せで、「普通の別荘建築は要らない。子どもたちがワクワクする山小屋を建築したい」と要望を受け、通常は土木資材として用いられるコルゲート鋼板を屋根・外壁材として使用し、どこか愛嬌の感じられる生き物や宇宙船をイメージしたファサードとしました。

山小屋の内部は、2層吹抜アーチ状の大空間により、陽の当たる開放的なリビングとし、暖炉の火を囲みながら、皆が集い心温まる空間を目指しました。

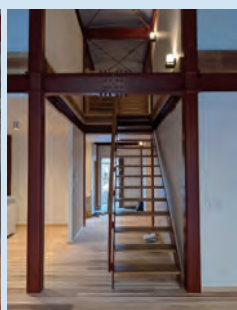
この建物は、学院理事長より「あおむし」と命名されました。この場所で子どもたちが四季折々の自然に親しみ、たくさんの楽しい思い出ができることを願っています。



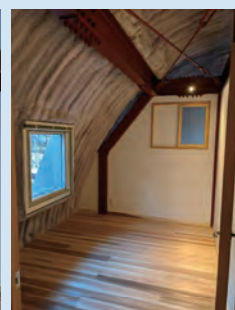
【吹抜のステンドグラス】



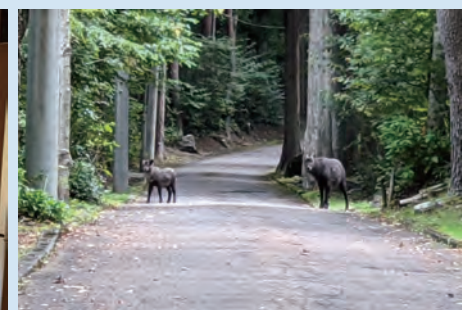
【リビングの暖炉】



【2階へ上がる階段】



【2階 居室】



【工事中に出会ったカモシカの親子】

【PICK UP】PFI手法による地方自治体の新庁舎整備～貝塚市新庁舎～

PFI（BT0）手法を用いた事業で、設計、建設、維持管理、運営、事業用地の一部を活用した民間収益施設の整備を一体的に実施し、民間の創意工夫による公共サービスの質の向上と財政負担の縮減を図ります。

アルパックは、導入可能性調査（基本計画共）、公共施設等総合管理計画、PFI事業者選定、モニタリングと各フェーズにおける継続した関わりと支援を行い、質の高い官民連携による施設デザインの実現をめざしています。

令和元年12月に貝塚市と貝塚シビックコアサポート株式会社（SPC）による事業契約が締結され、事業に着手しました。基本設計及び実施設計を経て、令和2年12月の起工式により、新庁舎建設工事がスタート。令和4年5月の新庁舎竣工記念式典をもって、新庁舎開庁の運びとなりました。今年度中に、旧庁舎の解体工事、市民広場等の外構工事を実施し、令和5年のグランドオープンを予定しています。



【旧庁舎】



【外観】



【執務室】



【公房兼災害対策本部】



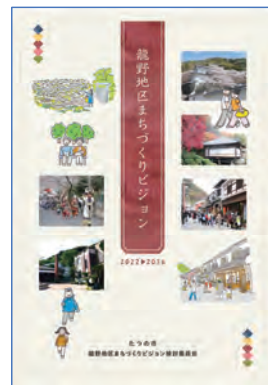
【委員会室】

【PICK UP】 たつの市龍野地区重伝建を契機としたまちづくりビジョンの作成

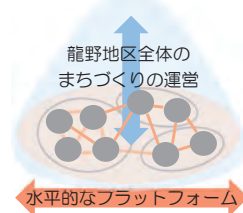
たつの市龍野地区は、長年の住民の方々の活動が実を結び、令和元年12月に国の**重要伝統的建造物群保存地区**に選定されました。これを契機として、より一層の町並み保存や活用を促進し、地区全体の活性化を図るため、その指針となるべく「龍野地区まちづくりビジョン」を策定しました。

地区内には、**個人や団体として、熱意を持って活動する多くの方がおられます**。計画づくりにあたっては、これらの人たちに参加をいただき、検討委員会やワークショップを通してご意見をいただくとともに、**今後の活動の母体となる組織づくりを模索**しました。

まちづくりの5つの基本柱ごとに、空き家活用や賑わいの創出など、テーマ性を持ったワークショップを開催し、**話し足りない部分を補い、より具体的な方策を探るため**、地区内のかどめふれあい館を活用して「WS番外編」を開催し皆で話合ったまとめを最後のワークショップで発表しました。



組織のイメージ



＜組織の方向性＞

- ①地域住民が誰でも参加できる。
- ②収益をあげることによって持続的にまちづくりを進めることができる。
- ③既存の活動団体や組織も組み込むことができる。
- ④行政と連携する。

将来像のイメージ



ふるさとガイドによる案内で地元住民向けまち歩きワークショップを開催



空き家問題を考えるワークショップ



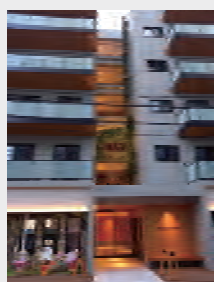
まちづくりワークショップ



ワークショップ番外編

■2021年度のおもな業務

- 【住宅計画】千里ニュータウン及び周辺団地におけるストック再編事業化検討（令和2～3年）
- 【歴史文化】佐藤家保存修理工事他設計監理（篠山市）
- 【地域振興施設】（仮称）「道の駅」姫路整備基本計画（仮称）錦帯橋資料館等整備基本計画八王子中町プロジェクト（集会所・店舗の複合施設設計監理）
- 【福祉施設】四日市市子どもと親子の活動・交流拠点整備計画
- 【教育施設】牧之原市学校再編計画基礎調査
- 【卸売市場】川崎市卸売市場機能更新に係る検討支援（令和元年度より継続受注）
秋田市卸売市場再整備基本構想策定
- 【官民連携】八尾市営西郡住宅建替事業PFIアドバイザー
徳島市上下水道局庁舎整備事業基本・実施設計支援
- 【民間建築】新関西将棋会館整備における総合技術支援
寺田町プレイス1新築工事設計監理



18 エキスパートグループ

■グループメンバー

- 高坂 憲治（取締役建築設計計画担当、一級建築士、JIA近畿支部所属）
- 新開 夏織（メンバー、一級建築士）
- 杉本健太郎（メンバー、技術士補、一級建築士取得に向け奮闘中）
- 塗師木伸介（チーフ、一級建築士）
- 原田 稔（プロジェクトマネージャー、一級建築士、JIA近畿支部役員・京都地域会役員、こども環境学会員）
- 鮎子田稔理（サポートメンバー、二級建築士、ハリーゼマネージャー、福祉住環境コーディネーター2級、調理士）※8月末で卒業
- 間瀬 高歩（チームマネージャー、一級建築士、技術士、JIA東海支部設計競技委員長・愛知地域会総務委員長）
- 三浦 健史（チームマネージャー、一級建築士、日本建築学会員、CASBEE建築評価員、JIHa会員）
- 山崎 博央（執行役員、グループマネージャー、一級建築士、JIA近畿支部所属、こども環境学会員、JIHa会員）
- 和田 裕介（チームマネージャー、一級建築士）
- 金 誠（サポートスタッフ）

■社会活動等

高知県立林業大学校「木造初心者のための中大規模木造塾2021」を受講

座学+他の大手組織事務所やゼネコン、材料供給者や自治体職員等の少人数のグループワークで試行錯誤しながら試設計を実施しました。



中期ビジョンの策定と推進

2019年度に約1年間をかけて、全所員参画により策定した「2030年に向けたビジョン及び中期経営計画」を推進

- ・ アルパックでは、これまでも節目節目で中期ビジョン等を策定し、「自分達が何者で、何をめざし、何を基準に進んでいくのか」を熟議。「自分ごと」として理念（ビジョン）を共有し、その実践に取り組んできました。
- ・ 新中期ビジョンをスタートさせた第55期は、折しも前森脇社長の急死により、新体制でスタートしました。
- ・ 新型コロナ禍やウクライナへのロシアの軍事侵攻による社会経済への影響、人口減少、少子・高齢化、自然との共生などの世界・日本が抱える複雑な社会問題を踏まえながら、アルパックらしい自主経営組織へ挑戦していくことを確認しています。
- ・ なお経営計画は（案）のままとし、経済・社会情勢の変化、毎期の経営方針などを踏まえながら、適宜、柔軟に見直しを行っています。

アルパックの倫理規定

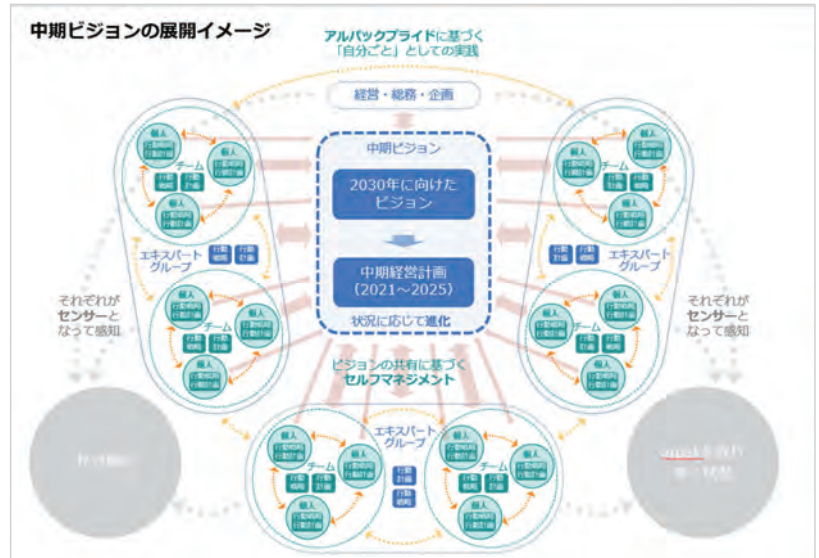
われわれは、人類が永い努力によって、克ちとってきた基本的権利と、社会的道義を守り尊重することを、われわれ自身の最高の道徳的規範とする。

われわれは、日本国憲法と法令を守るとともに、われわれの関与する国の法律と慣習を尊重する。

①社会への貢献、②信義の遵守、③職能の向上、④創造と刷新

アルパックの経営理念

「持続可能な地域づくりへの貢献」



3つの経営戦略

①持続可能な「事業づくり」

- ・ アルパックの経営を支える既存の受注型ビジネスモデルを進化・効率化するとともに、新しいビジネスモデルにチャレンジ
- ・ 業務や事業の推進に加え、常に社会的発信の視点を持つ

②持続可能な「体制づくり」

- ・ 新しい働き方のスタイル・組織づくりに挑戦
- ・ 常にベンチャー精神を持って、5年後のネクスト・チームづくりに挑戦

③持続可能な「人づくり」

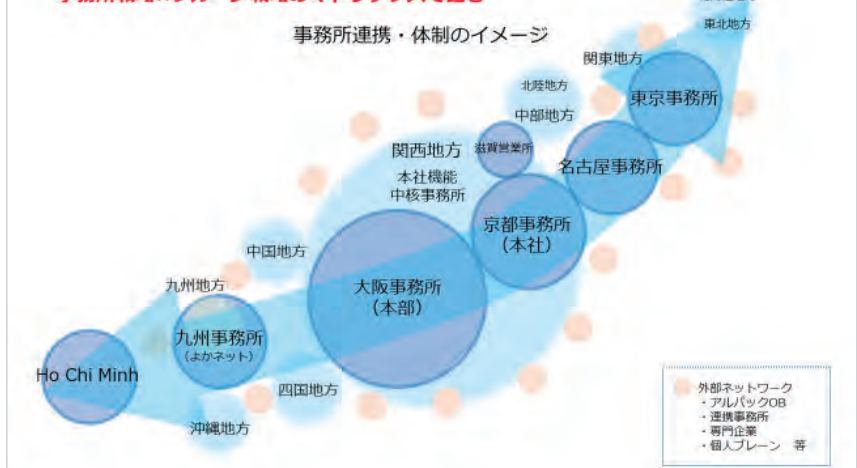
- ・ ごちゃまぜ（ダイバーシティ）による多様な価値観の衝突により、新しい変化やイノベーションを創造
- ・ 専門性と総合性を兼ね備えた多様な人材によるプロフェSSIONAL集団

「着実に、そして大胆に」

進捗管理を重視する「成長する計画」

- ①「自分ごと」として進める実施計画
- ②先が見えない経営環境に対応し、柔軟に変化する実行計画
- ③重点アクションの確実な実施
- ④横断的な「特命ユニット」による、新分野の創出と新リーダーの育成
- ⑤「検討委員会」で毎月、「役員会」で2回/年程度、「全社研修会」で1回/年、進捗を報告し、全員で議論

事務所戦略×グループ戦略のマトリックスで臨む



特命ユニット

中期ビジョンの重点アクションとして、新たな社会課題解決への貢献、横断的な新分野の創出と新リーダーの育成に向け、二つの特命ユニットが発足し、取り組んでいます。（取締役担当役員 畑中直樹）

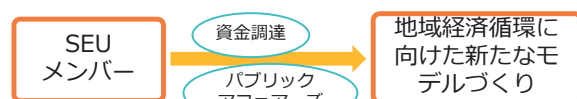
ソーシャル テクノロジー ユニット (STU : Social Technology Unit)

- コアメンバー R3（*は現在OB（連携継続））
 - ・佐藤拓也（サステナビリティマネジメントグループ）
 - ・原啓介（九州事務所・よかネット）
 - ・増見康平（建築プランニング・デザイングループ）*
 - ・稲垣和哉（都市・地域プランニンググループ）*
- ミッション
 - ・ICT関連の知識、ツールの活用方法、業務への活用について分野横断的にサポート
- ポリシー
 - ・「地域」を大切にしながら、ITベンダーにはできない領域の分析・コンサルティングで貢献
- R3トピックスとこれから
 - ・熊本版MaaS、嶺南スマートエリア（地域主導型都市OS他）、奈良県AIタウン等を技術支援
 - ・松前町等スマート関連やデジタルオープンデータ関連等で新たにチャレンジ中



ソーシャル エンタープライズ ユニット (SEU : Social Enterprise Unit)

- コアメンバー
 - ・江藤慎介（地域産業イノベーショングループ）
 - ・羽田拓也（地域再生デザイングループ）
 - ・豊福宏光（サステナビリティマネジメントグループ）
 - ・小川直史（地域再生デザイングループ）
 - + 深尾昌峰氏（龍谷大学副学長（外部アドバイザー））
- ミッション
 - ・「新たな社会課題」×「新たな資金活用」の視点での取組展開
- ポリシー
 - ・地域経済循環に向けた新たなモデルづくりに貢献
- R3トピックスとこれから
 - ・「企業版ふるさと納税制度」活用の社会的意義・あり方・可能性検討の試行として、宝塚市において「子育て環境、子どもたちの居場所」に着目したSDGsの取組実施、市へ提言
 - ・地域経済循環適正化のモデルづくりにチャレンジ中



適塾路地奥サロン

・開催趣旨

21世紀に入り、地域を取り巻く課題はより複雑化、高度化しており、単純なハードとソフトの融合というツールだけでは解決できない状況となっています。アルバックでは、今一度、多方面で活躍されている実践者や研究者の方々による具体的な活動や事業から「まちづくり」を見つめ直し、再定義し、「21世紀型の持続可能なまちづくり」のあり方等について、大阪事務所横の適塾のように「教えあい、学びあう」活発な意見交換を行いたいと考えています。

・開催概要（2021年度）

回	テーマ	講師	日時
③③	がもよんモデルの秘密～空き家再生でみんなが稼げる地元をつくる	和田欣也氏 （一社）がもよんにぎわいプロジェクト	4/16 オンライン
③④	コロナ禍で都市は変わるか ～欧米都市からの報告～	矢作弘氏 龍谷大学研究フェロー	5/14 オンライン
③⑤	移動貧困社会からの脱却～免許返納問題で生まれる新たなモビリティ・マーケット～	楠田悦子氏 交通ジャーナリスト	6/18 オンライン
③⑥	イタリアの小さな町 暮らしと風景 ～地方が元気になるまちづくり～	井口勝文氏 建築家 メルカッテロ名誉市民	7/16 オンライン
③⑦	ローカル・メディアのこれから ～13年間の「島民」発行から見えてきたこと～	大迫力氏 （株）1408	8/27 オンライン
③⑧	名古屋錦二丁目地区のエリアマネジメント ～構想をうごき、うごきを仕組みに～	名畑 恵氏 錦二丁目エリアマネジメント（株）	9/17 オンライン
③⑨	コウノトリ野生復帰に取り組む兵庫県豊岡市の農業のまちづくり～これまでとこれから～	山本隆之氏 豊岡市グッドローカル農業推進室長 平峯英子氏 （株）坪口農事未来研究所	10/27 オンライン
④⑩	楽しい公共空間をつくる ～プレイスメイキングから考えるまちづくり～	泉山聖威氏 日本大学理工学部助教 ソトノバ編集長	11/24 オンライン
④⑪	コンパクトシティ・ウォーカーブルシティの考え方から見えていくまちづくりの姿～地方都市における実践を例に～	野嶋 慎二氏 福井大学学術研究院工学系部門 建築建設工学専攻教授	12/15 オンライン
④⑫	場所の記憶～大阪東部・今里界限 地域基盤をつくった戦前期まちづくりに学ぶ	竹内陸男氏 シビックプランニング研究所	1/25 オンライン
④⑬	食品ロスの削減から、生活の質や社会のあり方を変える	山川肇氏 京都府立大学大学院生命環境科学研究科教授	2/22 オンライン
④⑭	社会を希望で満たす働きから～ソーシャルデザインという仕事～	今中博之氏 アトリエ インカープ	3/18 オンライン



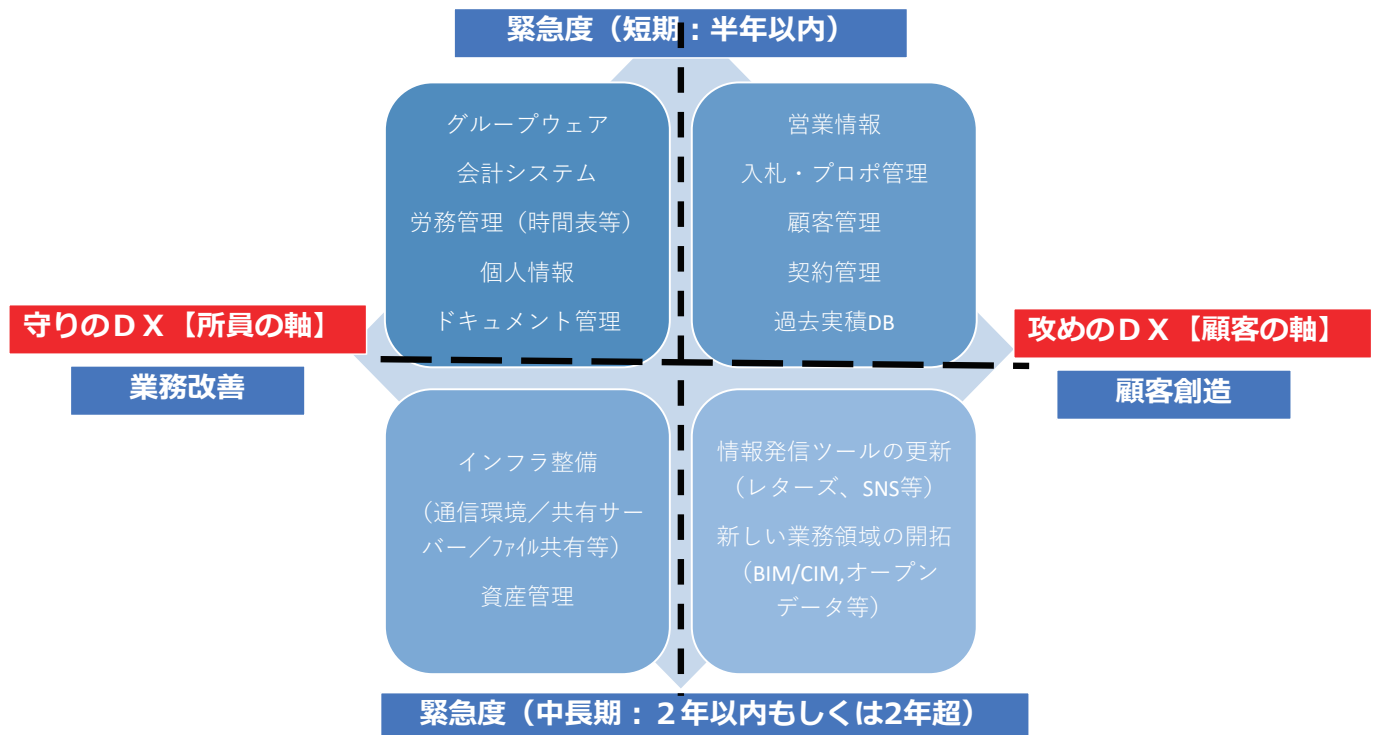
アルパックらしい自由な発想で持続可能な働き方を先取りする

アルパック版DXの推進

目的：①業務のムダとムラをなくす ②新しい事業や働き方の創造 ③リソースの最適化

方針：①アルパックらしい業務効率化 ②新しい価値や顧客創造 ③経営の安定と業績の質向上

1. 取組み内容を「攻め／守りのDX」のカテゴリाइズに分類



2. DX実行委員会メンバーでアプローチしているカテゴリाइズ ※2022年9月13日 現在

★攻めのDX ⇒ 顧客管理（名刺管理）＝価値のある情報資産として共有する

★守りのDX ⇒ 会計システム＝効率化を図り業務負荷を削減する

3. アプローチしていく主な手順【ステップ1～3】

ステップ1 ※ワークショップの実施

- ・現状課題を整理し可視化する
- ・業務フローやプロセスを整理し可視化する

ステップ2 ※内容や投資金額について役員会等で決裁

- ・試行ツールや運用方法を仮検討
- ・基幹システムへの紐づけ

ステップ3 ※基幹システム等の導入

- ・周知、推進体制の確立
- ・基幹システムの運用

■アルパックDX実行委員会

- | | | |
|----------------|--------|--------|
| ○中塚 一 | ○坂井 信行 | ○石川 俊博 |
| ○山崎 将也 | ○清水 紀行 | ○山本 貴子 |
| ○山部 健介 | ○中川貴美子 | ○和田 裕介 |
| ○佐藤 拓也（アドバイザー） | | |

■総務部

- 柳井 正義（総務部長、執行役員、中小企業診断士）
- 近江 篤（チームマネージャー）
- 仲野めぐみ（チーフ）
- 前江田晴香（チーフ）
- 節田さとみ（チーフ）
- 若林 秀和
- 藤井 明美（サポートメンバー）

arpakの旬をお届けするletter

企画政策推進室・メディア委員会

レターズアルパックの編集・発行



【Vol.228】 風

【風】風に乗って、伊勢・島の五月・風に吹かれて・新しい風・4年ぶりに、再び？新風をもたらせるか！・ベトナム地方都市開発の「追い風」・夜明けにけふる風待ちて。・風物詩紀行

今、こんな仕事をしています／新人紹介／事務所だより／近況&イベントのお知らせ

【まちかど】地域の「居場所」の社会実験～パブリックハウス「モモ」の話～



【Vol.229】 東京

【東京】きょうとあずま・意外と▲●■な街 ふりむいて東京♪・地域の中に「生態系」の息づく、八王子のお話し・「本郷もかねやすまでは江戸のうち」ー拡張するTOKYO・「東京」にはないものに憧れて・東京の思い出・東京・うた

今、こんな仕事をしています／事務所だより／近況&イベントのお知らせ

【まちかど】母から聞く神田のむかしと、ジョジョと歩く神田のいま

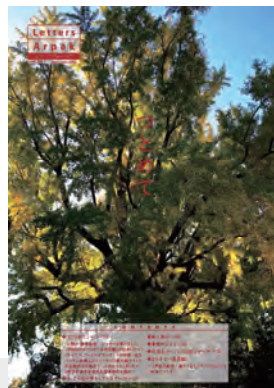


【Vol.230】 みのり

【みのり】みのり・きぼう・夏休みの収穫・「つながり」という実り・私の梅仕事・古本まつり楽しみのススメ・成果の代償から・豊かなみのりの高島市に引っ越ししました！

今、こんな仕事をしています／事務所だより／近況&イベントのお知らせ

【まちかど】名古屋の下町歴史巡りとアルパック名古屋の仕事の足跡

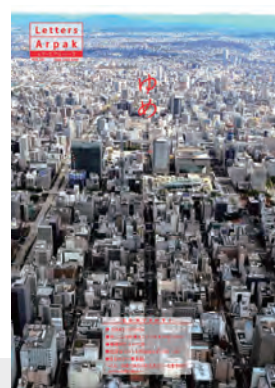


【Vol.231】 つとめて

【つとめて】お勤め 職業倫理・ジャガーを買いました・年相応のおつとめ～某寺住職との出会いから～・ライフ×ワーク＝ボランティアの時間・在日ベトナム知識人コミュニティの最大級サミットの広報担当を務めて・ふゆはつと（夙）めて・都市計画学会関西支部事務局を務めて

今、こんな仕事をしています／新人紹介／事務所だより／近況&イベントのお知らせ

【まちかど】「芦屋川駅前・暮らしまちづくりビジョン」を地域でつくろう



【Vol.232】 ゆめ

【ゆめ】ゆめ・「分かれぬ…」を大事にする・トライ&エラーと今年の抱負・夢から目標へ・夢の外へ・「ゆめ」と聞いて…・夢を語らう場所・しょうらいのゆめ・夢にまつわる作品・いつか行ってみたい場所：ヘリタンス・カンダラマ・「夢」って何だろう・小学校の思い出・人と人とがつくる「夢」の世界・夢中になっていること・この尻尾つを機会に改めて考えてみました・夢見心地・ヨガで健康な心と体を鍛えます・たまにはちゃんと考えてみようかと思ひます・特別なことをするために、普段どおりの当たり前を・改めて夢を持つ・2050年宇宙の旅へ・少し先の、少し遠くへ・夢のある未来のために

今、こんな仕事をしています／事務所だより／近況&イベントのお知らせ

【まちかど】「人」の姿で街なかを元気に！佐賀市街なかバルの取り組み～



【Vol.233】 種を蒔く

【種を蒔く】種を蒔く 土壌と施肥、そして育つ・シーズとニーズが息づく直売所・アルパック30年生の卒業ー「地域に種を蒔く」から「若者に種を蒔く」ー・酒と年のミッシングリンク・種を蒔く、だけでは足りない・種は吊るされ、入浴する・自分で蒔いた種

今、こんな仕事をしています／お知らせ／事務所だより／近況&イベントのお知らせ

【まちかど】トイレだってりっぱな観光資源

1983年7月の発刊、arpakの旬をお届けし続けています。今後も読者とarpakをつなぐユニークなネットワークツールとして育てていきます。

[22バックオフィス](#)

■企画政策推進室・メディア委員会

○坂井 信行（企画政策推進室長） ○中村 孝子（企画政策推進室サポートメンバー）
○石川 聡史 ○植松 陽子 ○遠藤 真森 ○太田 雅己
○羽田 拓也 ○廣部 出 ○三浦 健史 ○山崎 将也

アルパックの経営理念

「持続可能な地域づくりへの貢献」

今日の地域社会がめざすべき方向は、“持続可能な地域”です。この「持続可能」という概念は、環境保全の分野で唱えられたことに始まります。その後、世界の持続可能な開発の議論から、南北問題や貧困問題も視野に入ってきています。さらに、世界遺産を巡って、文化的景観も含む持続可能な開発にも言及されるようになってきました。

2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」17のゴールと169のターゲットからなる国際目標では、環境・経済・社会の持続可能性が謳われています。

こうしたグローバルな議論を踏まえ、ローカルで持続可能な「地域経済」「地域社会」「地域環境」を一体的に創っていく「持続可能な地域づくり」への貢献が、私どもアルパックのミッションだと考えています。



●本社・京都事務所

〒600-8007 京都市下京区四条通り高倉西入ル立売西町82番地
TEL. (075)221-5132(代表) FAX. (075)256-1764

●大阪事務所

〒541-0042 大阪市中央区今橋3丁目1番7号 日本生命今橋ビル10F
TEL. (06) 6205-3600 (代表) FAX. (06)6205-3601

●名古屋事務所

〒450-0001 名古屋市中村区那古野1-47-1名古屋国際センタービル7F
TEL. (052)462-1030(代表) FAX. (052)462-1061

●東京事務所

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-15-7 いちご大手町ノースビル4F
TEL. (03)5244-5132 (代表) FAX. (03)6273-7715

●九州事務所

〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3番8号 福岡パールビル8F
TEL. (092)283-2121(代表) FAX. (092)283-2128

●滋賀営業所

527-0012 東近江市八日市本町9-14
TEL. (0748)36-2065/FAX. (0748)36-2168

●ホーチミン（ベトナム）※ISO認証外

○中塚 一（代表取締役社長）



2022.10.1

